「多古町総合計画」

「多古町総合戦略」

策定に関するアンケート調査結果

令和元年 12 月

多古町

目　次

第１章　調査の概要 1

１．調査の目的 1
２．調査対象の概要 1
３．配布と回収状況 1
４．調査結果の見方 2

第２章　アンケート調査結果 3

１．回答者の属性について 3
２．あなたのお住まいの地域について 6
３．多古町に対する愛着や将来のまちの方向性について 10
４．幸福度について 19
５．多古町の人口増加策について 21
６．あなたの結婚の状況及びその意向等について【10～40 歳代限定】 25
７．情報発信について 30
８．男女共同参画社会について 33
９．まちづくり全般について 40

第１章　調査の概要

１．調査の目的

次期「多古町総合計画」と「多古町総合戦略」の策定にあたり、社会移動（転入・転出）、雇用、結婚・出産・子育て等や、まちづくり全般に対する意向やお考えを把握し、計画策定のための基礎資料とすることを目的に調査を行った。

２．調査対象の概要

本調査の対象は次の通り。

調査の対象（母集団）	調査期間	実施方法
１６歳以上の方 2,０００人無作為抽出	８月下旬～ １０月中旬	郵送での配布・回収

３．配布と回収状況

調査票の配布と回収の状況は次の通り。

配布数	回収数	回収率
2,000 票	796 票 （参考：前回 769 票）	39.8% （参考：前回 38.5%）

年代別回収率	
10 歳代	20.8%
20 歳代	24.5%
30 歳代	27.7%
40 歳代	30.0%
50 歳代	40.4%
60 歳代	51.7%
70 歳以上	53.6%

アンケートの標本誤差について

調査対象母集団規模に対して、信頼度 95%の条件（仮に同じアンケートを 100 回実施した場合、95 回は同様の結果を得るということ）の下で、今回の回収数（標本数）での標本誤差（母集団での結果と標本から得られる結果の値の差）について検証してみると、最大標本誤差は±3.4（どの設問についても 3.4%以内の誤差に収まっているということ）となっている。

※標本誤差は一般に、「±５.０%未満」で優位性が担保される。

４．調査結果の見方

◇　設問ごとに設問に応じた該当するタイトルを記載している。その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合がある。

◇　タイトルの横には、質問形態を記載している。

（単数回答）：「１つに○」など選択肢を１つ選ぶ質問形態
（複数回答）：「あてはまる番号すべてに○」など２つ以上の選択を選ぶ質問形態
（数量回答）：日数や時間、回数などの数値・数量を記入する質問形態
（自由記述）：文字記述回答

◇　設問に対し回答する方が限られる場合は、質問形態の横に、回答する方を限定する内容を記載している。（例【就労者限定】：働いていると回答した方のみが回答した設問）

◇　各グラフの“ｎ”は、当該設問に回答すべき方（回答対象者）の人数を示している。

◇　集計結果のグラフ・表における“無回答”は、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、単数回答の設問における複数回答など）の件数（票数）を示している。

◇　グラフ・表には、原則として各集計数の総回答対象者数に対する比率（％）を表示している。また、０％の場合は省略している場合がある。

◇　集計は、小数点以下を四捨五入して算出しているため、合計が 100％にならない場合がある。

◇　クロス集計表は、トップ１項目のセルに　　　　　で着色している。

◇　各設問の選択肢等について、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合がある。

第２章　アンケート調査結果

１．回答者の属性について

回答者の属性としては、「男性」が 44.1％、「女性」が 50.4％となっており、年齢としては「60 歳代」、居住地区としては「多古地区」が最も多くなっている。

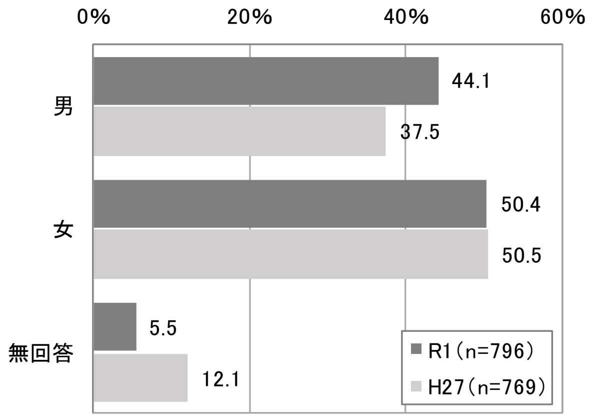
職業としては、「会社員、公務員、団体職員など」が最も多くなっている。**前回調査と比較すると「無職」は減少**しているが、**「パート、アルバイト」が増加**傾向となっており、また、農業関与の有無については**「農業に関わったことがない」方が 44.2％と半数近く**となった。

居住年数としては「21 年以上」が最も多くなっており、前回調査とも大きな変化はない。

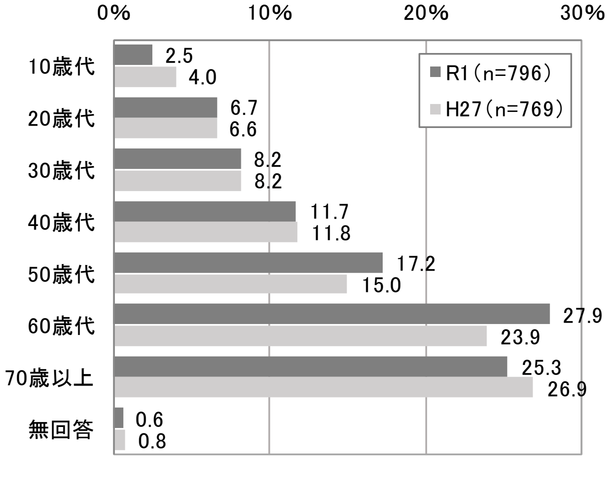
家族構成としては、「二世代同居」が最も多くなっている。また、**前回調査と比較すると「三世代同居」が減少**しており、同居家族としての「65 歳以上の高齢者」も、割合として減少している。

同居家族を前回調査と比較すると、「高校・大学生」が他と比べ大きく減少している。また、「介護・介助を必要とする人」の同居家族がいる方も 16.5％となっている。

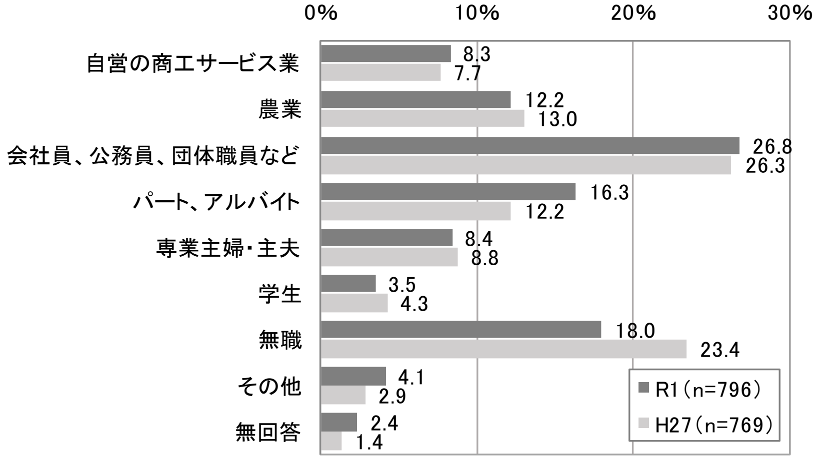
①性　　別



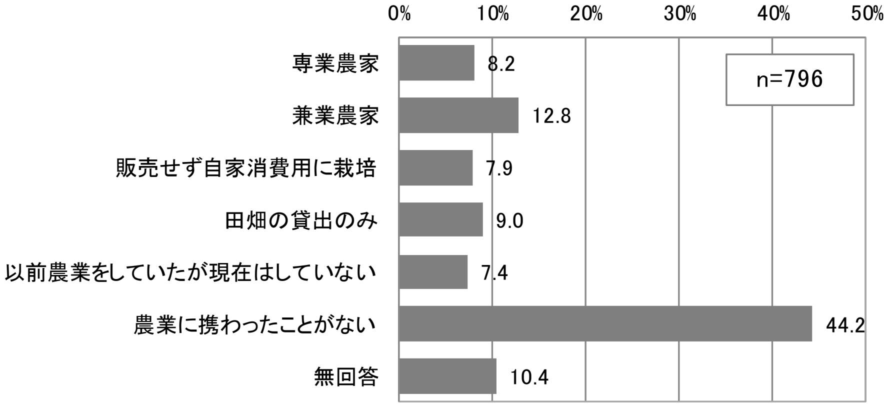
②年　　代



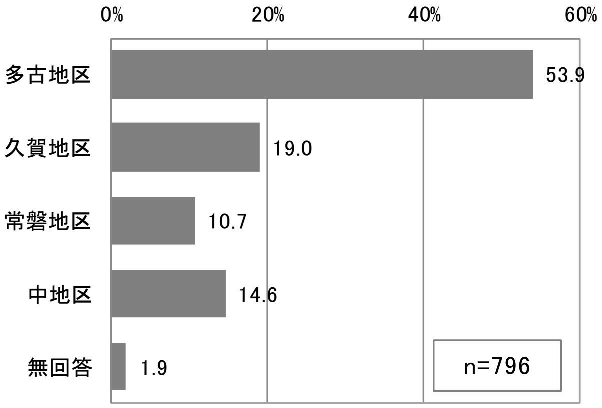
③職　　業



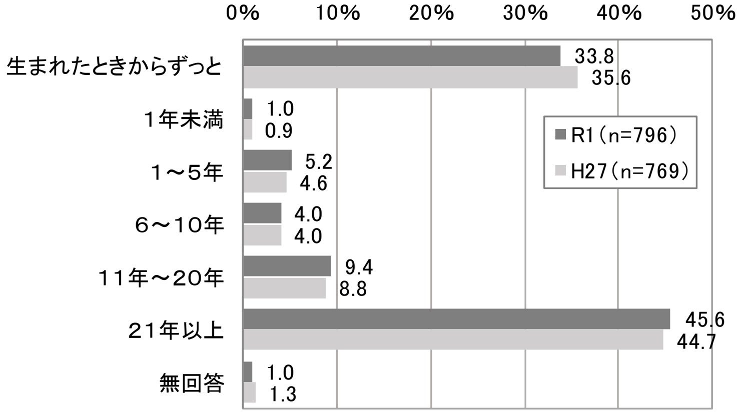
④農業関与



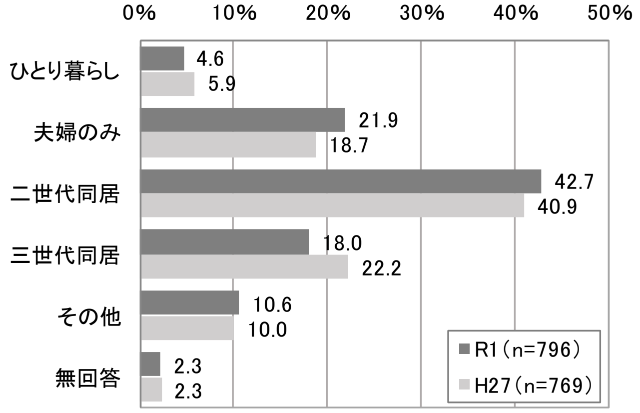
⑤居住地区



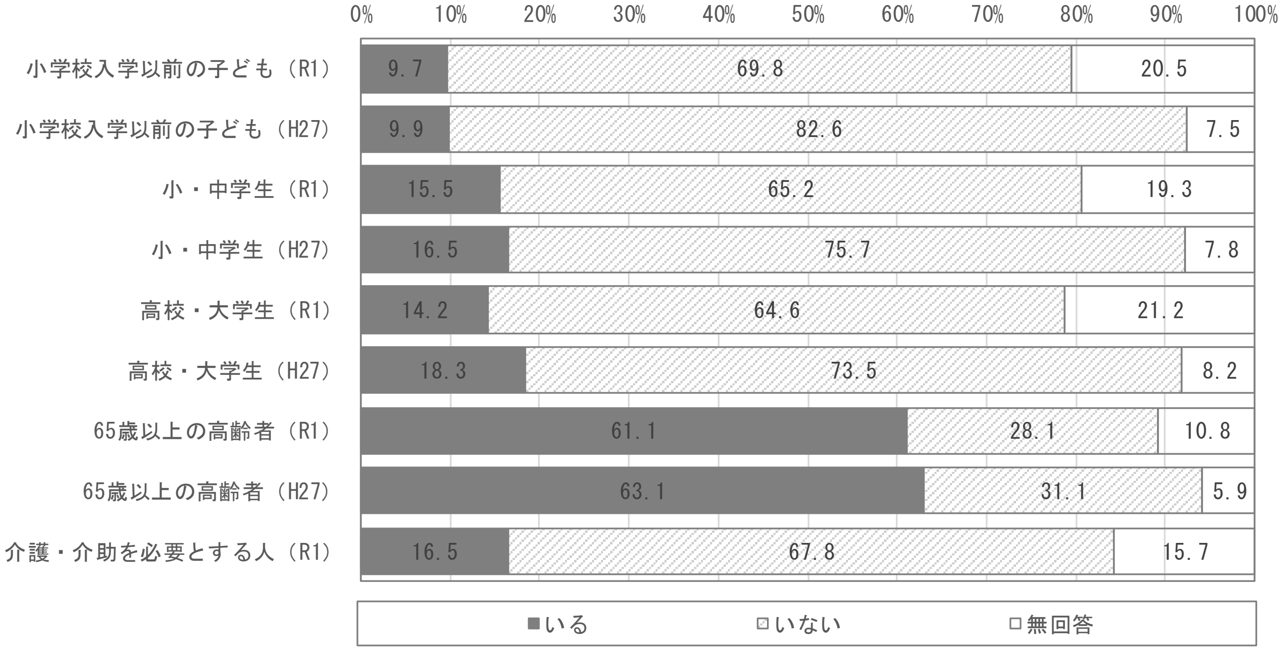
⑥居住年数



⑦家族構成



⑧同居家族



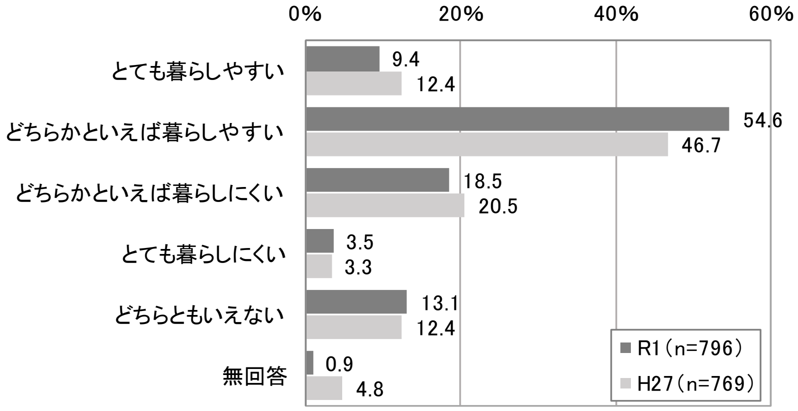
2．あなたのお住まいの地域について

多古町が『暮らしやすい』と回答した方は、全体の 64.0%と半数以上を占めており、前回調査の 59.1%からも増加傾向となっている。しかし、年齢別にみてみると、10・20 歳代では『暮らしやすい』と感じている方は 53.4%と、全体と比べ低くなっている。

多古町での定住意向について伺うと、「ずっと住み続けたい」が 57.9%と、こちらも半数以上となっている。また、定住意向についても年齢別でみてみると、10・20 歳代では「ずっと住み続けたい」は 20.5%と、全体と比べ低くなっているが、「どちらともいえない」が 45.2%と半数近くを占めているため、そういった方の定住意向を高めることで定住につながる可能性も考えられる。

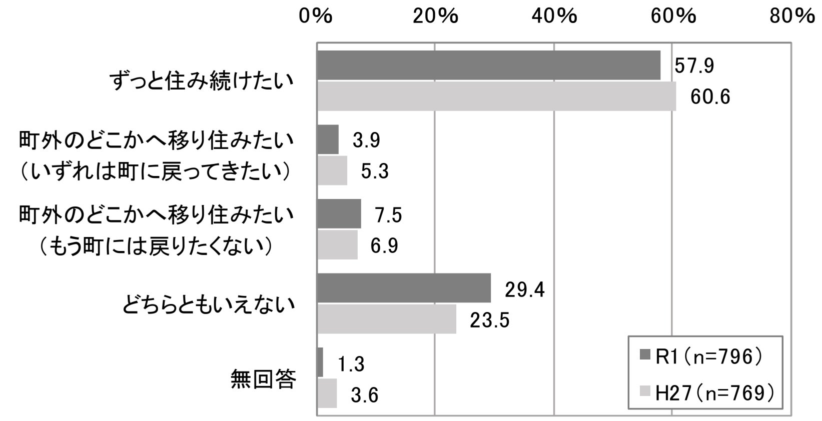
また、住み続けたい理由としては「住みなれている」「自然環境がよい」等の環境の良さが理由として挙がっており、反対に、移り住みたい理由としては「交通の便が悪い」「買い物などの日常生活が不便」といった利便性の部分を理由に挙げる方が多くなっている。また、移り住みたい理由を年齢別にみると、「交通の便が悪い」は全年齢で最も多くなっているが、次いで多いのは、10・20 歳では「希望にあう仕事・職場がない」「余暇・娯楽の場が少ない」、30 歳以上は「買い物などの日常生活が不便」となっている。

【問１】多古町の暮らしやすさ（単数回答）



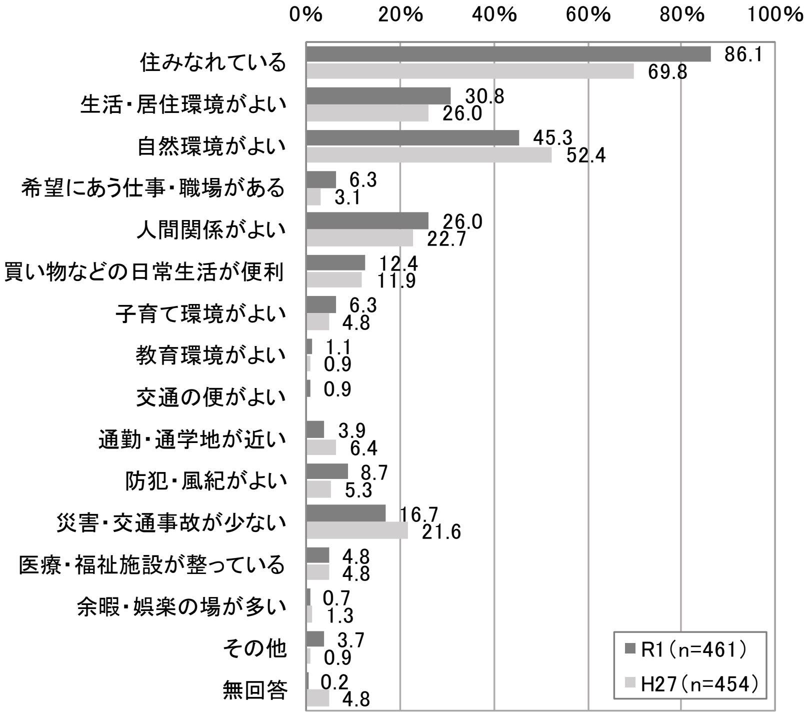
		合計	とても暮らしやすい	どちらかといえば暮らしやすい	どちらかといえば暮らしにくい	とても暮らしにくい	どちらともいえない	無回答
全体		796 100.0	75 9.4	435 54.6	147 18.5	28 3.5	104 13.1	7 0.9
性別	男	351 100.0	26 7.4	190 54.1	78 22.2	14 4.0	41 11.7	2 0.6
	女	401 100.0	45 11.2	220 54.9	63 15.7	13 3.2	55 13.7	5 1.2
年齢	10・20歳代	73 100.0	5 6.8	34 46.6	18 24.7	7 9.6	9 12.3	0 0.0
	30・40歳代	158 100.0	21 13.3	80 50.6	26 16.5	8 5.1	22 13.9	1 0.6
	50歳以上	560 100.0	48 8.6	319 57.0	101 18.0	13 2.3	73 13.0	6 1.1
居住地区	多古地区	429 100.0	51 11.9	239 55.7	65 15.2	13 3.0	54 12.6	7 1.6
	久賀地区	151 100.0	10 6.6	74 49.0	39 25.8	7 4.6	21 13.9	0 0.0
	常磐地区	85 100.0	7 8.2	37 43.5	24 28.2	2 2.4	15 17.6	0 0.0
	中地区	116 100.0	4 3.4	82 70.7	13 11.2	6 5.2	11 9.5	0 0.0

【問２】多古町での定住意向（単数回答）



		合計	ずっと住み続けたい	町外のどこかへ移り住みたい（いずれは町に戻ってきたい）	町外のどこかへ移り住みたい（もう町には戻りたくない）	どちらともいえない	無回答
全体		796	461	31	60	234	10
		100.0	57.9	3.9	7.5	29.4	1.3
性別	男	351	200	16	29	103	3
		100.0	57.0	4.6	8.3	29.3	0.9
	女	401	233	14	29	119	6
		100.0	58.1	3.5	7.2	29.7	1.5
年齢	10・20歳代	73	15	13	11	33	1
		100.0	20.5	17.8	15.1	45.2	1.4
	30・40歳代	158	80	7	13	57	1
		100.0	50.6	4.4	8.2	36.1	0.6
	50歳以上	560	363	10	36	143	8
		100.0	64.8	1.8	6.4	25.5	1.4
居住地区	多古地区	429	257	18	38	111	5
		100.0	59.9	4.2	8.9	25.9	1.2
	久賀地区	151	80	7	12	49	3
		100.0	53.0	4.6	7.9	32.5	2.0
	常磐地区	85	48	0	5	32	0
		100.0	56.5	0.0	5.9	37.6	0.0
	中地区	116	71	5	4	35	1
		100.0	61.2	4.3	3.4	30.2	0.9

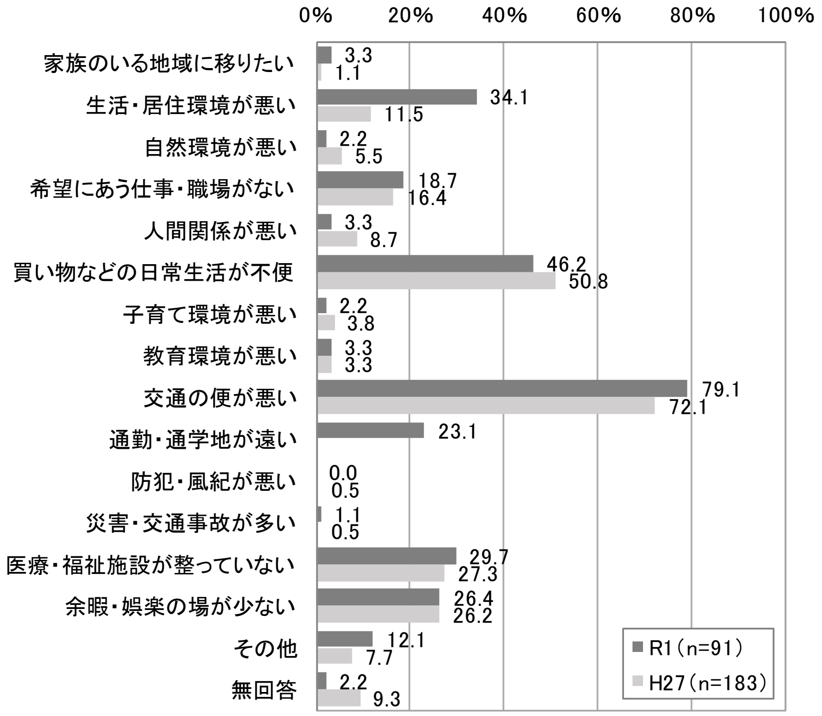
「住み続けたい」理由（複数回答）【住み続けたい方限定】



※H27 調査では「交通の便が良い」なし

		合計	住みなれている	生活・居住環境がよい	自然環境がよい	希望にあう仕事・職場がある	人間関係がよい	買い物などの日常生活が便利	子育て環境がよい	教育環境がよい	交通の便がよい	通勤・通学地が近い	防犯・風紀がよい	災害・交通事故が少ない	医療・福祉施設が整っている	余暇・娯楽の場が多い	その他	無回答
全体		461	397	142	209	29	120	57	29	5	4	18	40	77	22	3	17	1
		100.0	86.1	30.8	45.3	6.3	26.0	12.4	6.3	1.1	0.9	3.9	8.7	16.7	4.8	0.7	3.7	0.2
性別	男	200	170	57	87	13	55	20	10	2	2	8	21	32	10	1	9	1
		100.0	85.0	28.5	43.5	6.5	27.5	10.0	5.0	1.0	1.0	4.0	10.5	16.0	5.0	0.5	4.5	0.5
	女	233	205	78	112	16	57	31	19	2	2	9	16	37	11	1	7	0
		100.0	88.0	33.5	48.1	6.9	24.5	13.3	8.2	0.9	0.9	3.9	6.9	15.9	4.7	0.4	3.0	0.0
年齢	10・20歳代	15	14	2	7	0	2	1	3	0	1	2	0	1	0	0	0	0
		100.0	93.3	13.3	46.7	0.0	13.3	6.7	20.0	0.0	6.7	13.3	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	30・40歳代	80	56	29	41	11	12	6	20	3	0	8	8	14	3	0	4	0
		100.0	70.0	36.3	51.3	13.8	15.0	7.5	25.0	3.8	0.0	10.0	10.0	17.5	3.8	0.0	5.0	0.0
	50歳以上	363	326	109	160	18	106	50	6	1	3	8	31	61	19	3	13	1
		100.0	89.8	30.0	44.1	5.0	29.2	13.8	1.7	0.3	0.8	2.2	8.5	16.8	5.2	0.8	3.6	0.3
居住地区	多古地区	257	213	86	115	17	72	46	21	3	2	10	27	38	13	1	9	0
		100.0	82.9	33.5	44.7	6.6	28.0	17.9	8.2	1.2	0.8	3.9	10.5	14.8	5.1	0.4	3.5	0.0
	久賀地区	80	74	25	43	9	16	2	5	0	1	4	5	12	3	0	1	0
		100.0	92.5	31.3	53.8	11.3	20.0	2.5	6.3	0.0	1.3	5.0	6.3	15.0	3.8	0.0	1.3	0.0
	常磐地区	48	43	7	23	2	14	0	1	0	0	2	1	12	2	0	2	1
		100.0	89.6	14.6	47.9	4.2	29.2	0.0	2.1	0.0	0.0	4.2	2.1	25.0	4.2	0.0	4.2	2.1
	中地区	71	64	21	25	1	18	8	2	1	1	2	6	14	4	2	5	0
		100.0	90.1	29.6	35.2	1.4	25.4	11.3	2.8	1.4	1.4	2.8	8.5	19.7	5.6	2.8	7.0	0.0

「移り住みたい」理由（複数回答）【移り住みたい方限定】



※H27 調査では「通勤・通学地が遠い」なし

		合計	家族のいる地域に移りたい	生活・居住環境が悪い	自然環境が悪い	希望にあう仕事・職場がない	人間関係が悪い	買い物などの日常生活が不便	子育て環境が悪い	教育環境が悪い	交通の便が悪い	通勤・通学地が遠い	防犯・風紀が悪い	災害・交通事故が多い	医療・福祉施設が整っていない	余暇・娯楽の場が少ない	その他	無回答
全体		91	3	31	2	17	3	42	2	3	72	21	0	1	27	24	11	2
		100.0	3.3	34.1	2.2	18.7	3.3	46.2	2.2	3.3	79.1	23.1	0.0	1.1	29.7	26.4	12.1	2.2
性別	男	45	0	15	1	7	2	22	2	1	35	10	0	1	13	13	8	1
		100.0	0.0	33.3	2.2	15.6	4.4	48.9	4.4	2.2	77.8	22.2	0.0	2.2	28.9	28.9	17.8	2.2
	女	43	3	15	1	10	1	19	0	2	34	10	0	0	13	10	3	1
		100.0	7.0	34.9	2.3	23.3	2.3	44.2	0.0	4.7	79.1	23.3	0.0	0.0	30.2	23.3	7.0	2.3
年齢	10・20歳代	24	1	5	0	10	0	7	0	1	20	8	0	1	3	10	4	1
		100.0	4.2	20.8	0.0	41.7	0.0	29.2	0.0	4.2	83.3	33.3	0.0	4.2	12.5	41.7	16.7	4.2
	30・40歳代	20	1	6	1	2	1	9	1	1	15	6	0	0	5	5	3	0
		100.0	5.0	30.0	5.0	10.0	5.0	45.0	5.0	5.0	75.0	30.0	0.0	0.0	25.0	25.0	15.0	0.0
	50歳以上	46	1	20	1	5	2	26	1	1	36	7	0	0	19	8	4	1
		100.0	2.2	43.5	2.2	10.9	4.3	56.5	2.2	2.2	78.3	15.2	0.0	0.0	41.3	17.4	8.7	2.2
居住地区	多古地区	56	3	19	0	13	0	25	1	3	48	16	0	0	19	17	5	0
		100.0	5.4	33.9	0.0	23.2	0.0	44.6	1.8	5.4	85.7	28.6	0.0	0.0	33.9	30.4	8.9	0.0
	久賀地区	19	0	8	0	2	2	10	1	0	13	4	0	0	4	3	4	1
		100.0	0.0	42.1	0.0	10.5	10.5	52.6	5.3	0.0	68.4	21.1	0.0	0.0	21.1	15.8	21.1	5.3
	常磐地区	5	0	2	1	0	1	2	0	0	2	0	0	0	2	0	1	0
		100.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0
	中地区	9	0	1	0	1	0	4	0	0	8	1	0	1	1	4	1	1
		100.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	44.4	0.0	0.0	88.9	11.1	0.0	11.1	11.1	44.4	11.1	11.1

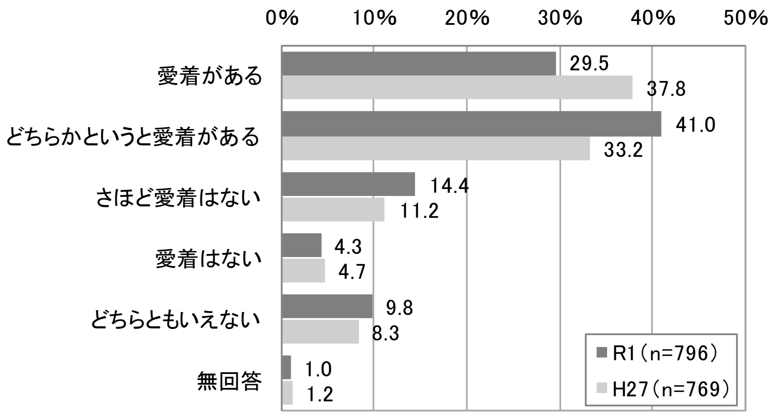
３．多古町に対する愛着や将来のまちの方向性について

多古町への愛着度を伺うと、70.5%の方が『愛着がある』と回答している。また、年齢別にみてみると 10・20 歳代の 73.9%が最も高く、30・40 歳代の 67.1%が最も低くなっており、暮らしやすさや定住意向とは異なり、若年層の方がまちへの愛着があるという結果となった。

まちの状況について、「子育て支援のための機能や体制」「商店などの買物の便の良さ」「公共交通の便」が、５年前と比べ良くなったと感じる方が多くなっている。また、まちづくりへの満足度と重要度について伺うと、「子育て支援の充実」「バス交通などの公共交通機能の強化」の満足度も５年前と比べ上がっており、移り住みたい理由となっている利便性の部分に改善がみられる。反対に５年前と比べ満足度が下がったのは「国道、県道、町道の整備」「上水道の整備・下水処理の推進」となっている。

また、もう少し身近に、住んでいる地区の状況を前回調査時と比較してみると、「近所づきあいや地域活動が活発である」は増加しているのに対し、「困っている人を助ける仕組みがある」が大きく減少している。

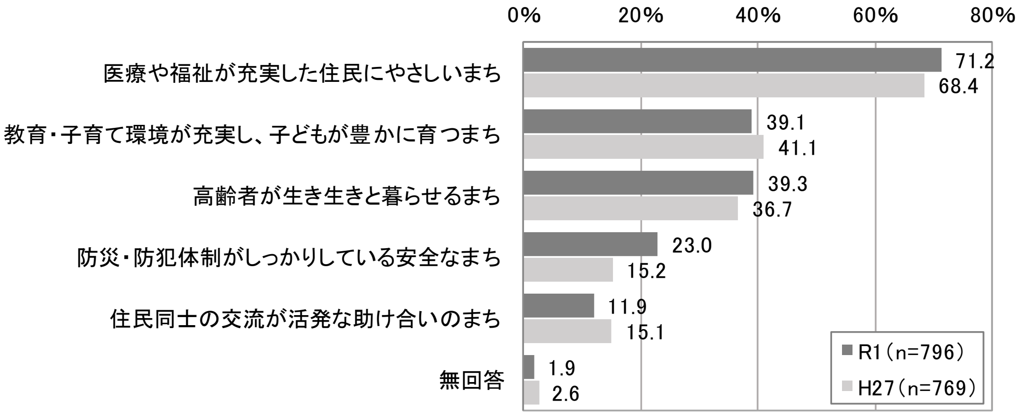
【問 3】多古町への愛着度、魅力度（単数回答）



		合計	愛着がある	どちらかというと愛着がある	さほど愛着はない	愛着はない	どちらともいえない	無回答
全体		796	235	326	115	34	78	8
		100.0	29.5	41.0	14.4	4.3	9.8	1.0
性別	男	351	111	145	50	17	25	3
		100.0	31.6	41.3	14.2	4.8	7.1	0.9
	女	401	114	161	59	16	47	4
		100.0	28.4	40.1	14.7	4.0	11.7	1.0
年齢	10・20歳代	73	25	29	10	6	1	2
		100.0	34.2	39.7	13.7	8.2	1.4	2.7
	30・40歳代	158	33	73	27	11	14	0
		100.0	20.9	46.2	17.1	7.0	8.9	0.0
	50歳以上	560	176	223	77	17	62	5
		100.0	31.4	39.8	13.8	3.0	11.1	0.9
居住地区	多古地区	429	121	175	64	22	43	4
		100.0	28.2	40.8	14.9	5.1	10.0	0.9
	久賀地区	151	42	68	18	9	13	1
		100.0	27.8	45.0	11.9	6.0	8.6	0.7
	常磐地区	85	22	37	17	0	8	1
		100.0	25.9	43.5	20.0	0.0	9.4	1.2
	中地区	116	47	43	12	3	10	1
		100.0	40.5	37.1	10.3	2.6	8.6	0.9

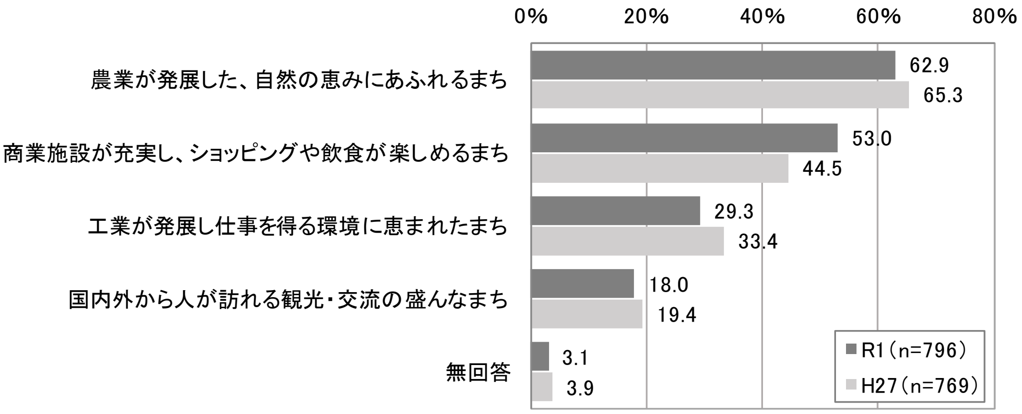
【問４】将来に希望する、多古町の様子（複数回答）

■生活環境



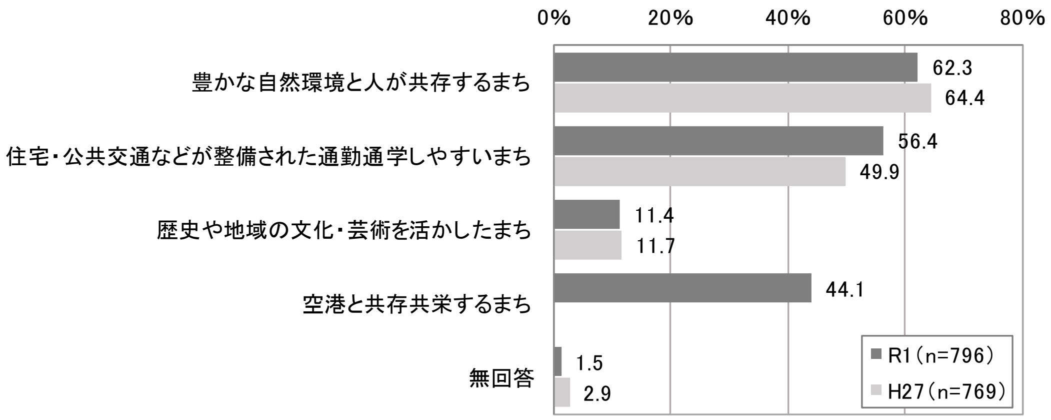
		合計	医療や福祉が充実した住民にやさしいまち	教育・子育て環境が充実し、子どもが豊かに育つまち	高齢者が生き生きと暮らせるまち	防災・防犯体制がしっかりしている安全なまち	住民同士の交流が活発な助け合いのまち	無回答
全体		796	567	311	313	183	95	15
		100.0	71.2	39.1	39.3	23.0	11.9	1.9
性別	男	351	242	152	134	69	38	8
		100.0	68.9	43.3	38.2	19.7	10.8	2.3
	女	401	292	146	162	102	50	5
		100.0	72.8	36.4	40.4	25.4	12.5	1.2
年齢	10・20歳代	73	40	49	18	19	6	2
		100.0	54.8	67.1	24.7	26.0	8.2	2.7
	30・40歳代	158	114	88	37	42	16	0
		100.0	72.2	55.7	23.4	26.6	10.1	0.0
	50歳以上	560	410	174	255	120	73	12
		100.0	73.2	31.1	45.5	21.4	13.0	2.1

■まちの産業



		合計	農業が発展した、自然の恵みにあふれるまち	商業施設が充実しショッピングや飲食が楽しめるまち	工業が発展し仕事を得る環境に恵まれたまち	国内外から人が訪れる観光・交流の盛んなまち	無回答
全体		796	501	422	233	143	25
		100.0	62.9	53.0	29.3	18.0	3.1
性別	男	351	215	185	108	72	8
		100.0	61.3	52.7	30.8	20.5	2.3
	女	401	260	217	114	63	14
		100.0	64.8	54.1	28.4	15.7	3.5
年齢	10・20歳代	73	45	47	12	19	2
		100.0	61.6	64.4	16.4	26.0	2.7
	30・40歳代	158	88	92	49	35	3
		100.0	55.7	58.2	31.0	22.2	1.9
	50歳以上	560	366	282	171	88	18
		100.0	65.4	50.4	30.5	15.7	3.2

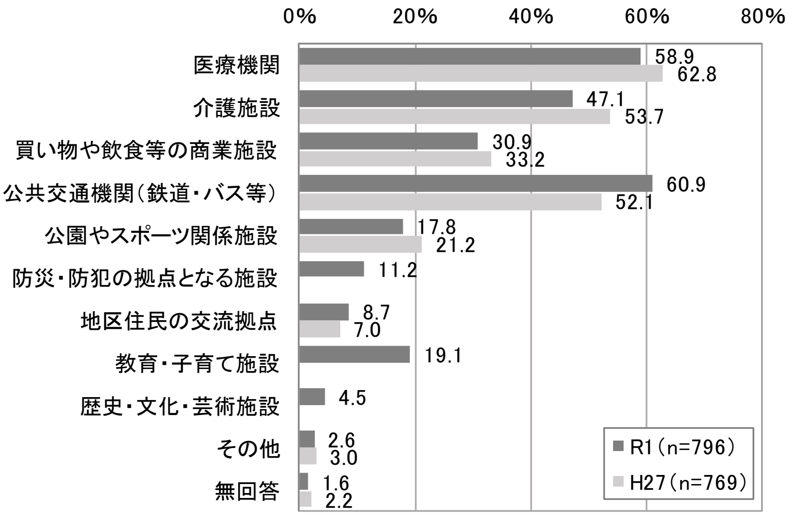
■まちづくりの方向性



		合計	豊かな自然環境と人が共存するまち	住宅・公共交通などが整備された通勤通学しやすいまち	歴史や地域の文化・芸術を活かしたまち	空港と共存共栄するまち	無回答
全体		796	496	449	91	351	12
		100.0	62.3	56.4	11.4	44.1	1.5
性別	男	351	218	182	41	173	4
		100.0	62.1	51.9	11.7	49.3	1.1
	女	401	247	244	47	157	7
		100.0	61.6	60.8	11.7	39.2	1.7
年齢	10・20歳代	73	41	48	10	24	2
		100.0	56.2	65.8	13.7	32.9	2.7
	30・40歳代	158	88	106	17	72	1
		100.0	55.7	67.1	10.8	45.6	0.6
	50歳以上	560	366	292	64	253	8
		100.0	65.4	52.1	11.4	45.2	1.4

※H27 調査では「空港と共存共栄するまち」ではなく「町民と町役場が知恵を出し合ってまちづくりを進めるまち」が 42.1%

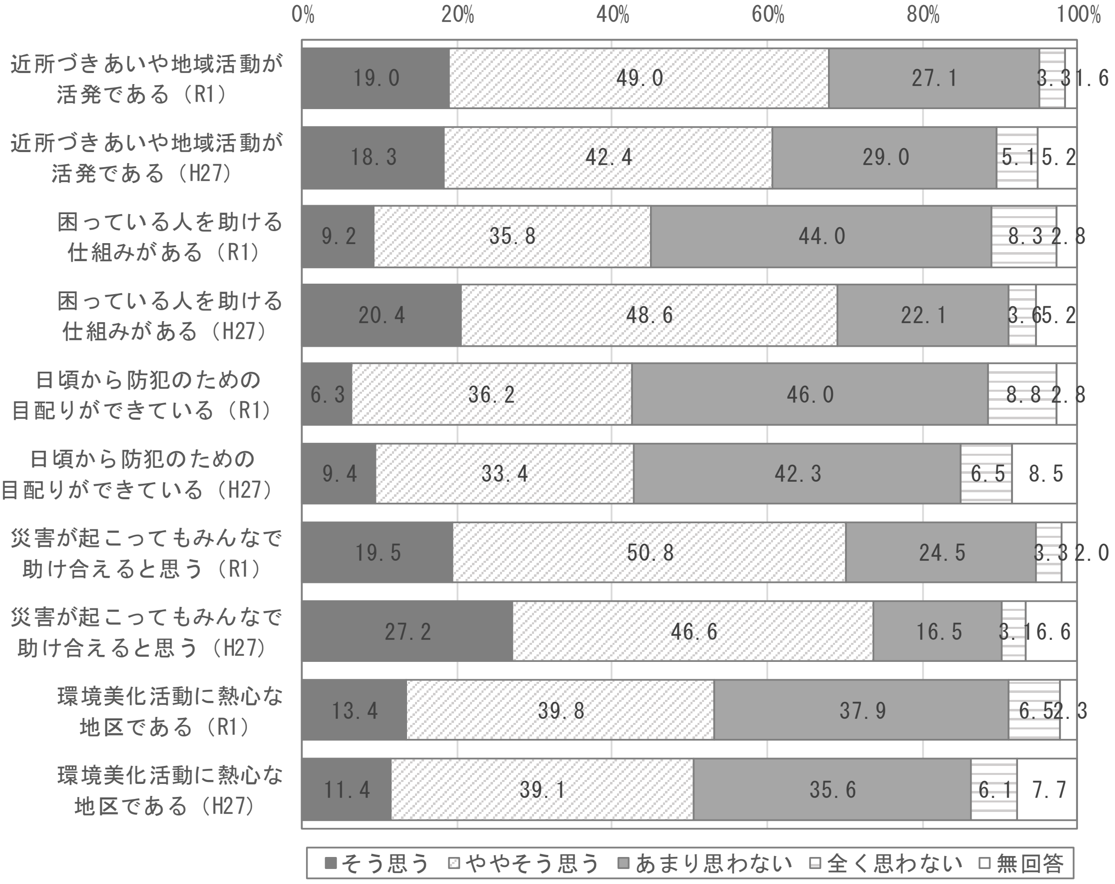
【問５】今後５年間で充実や改善が必要な施設（複数回答）



		合計	医療機関	介護施設	買い物や飲食等の商業施設	公共交通機関（鉄道・バス等）	公園やスポーツ関係施設	防災・防犯の拠点となる施設	地区住民の交流拠点	教育・子育て施設	歴史・文化・芸術施設	その他	無回答
全体		796	469	375	246	485	142	89	69	152	36	21	13
		100.0	58.9	47.1	30.9	60.9	17.8	11.2	8.7	19.1	4.5	2.6	1.6
性別	男	351	195	162	95	210	65	42	29	80	17	16	7
		100.0	55.6	46.2	27.1	59.8	18.5	12.0	8.3	22.8	4.8	4.6	2.0
	女	401	251	192	137	248	71	41	38	64	17	4	4
		100.0	62.6	47.9	34.2	61.8	17.7	10.2	9.5	16.0	4.2	1.0	1.0
年齢	10・20歳代	73	29	14	35	54	20	5	3	14	2	2	2
		100.0	39.7	19.2	47.9	74.0	27.4	6.8	4.1	19.2	2.7	2.7	2.7
	30・40歳代	158	85	50	62	113	43	9	10	36	2	6	2
		100.0	53.8	31.6	39.2	71.5	27.2	5.7	6.3	22.8	1.3	3.8	1.3
	50歳以上	560	352	311	148	315	78	73	56	101	32	13	8
		100.0	62.9	55.5	26.4	56.3	13.9	13.0	10.0	18.0	5.7	2.3	1.4
居住地区	多古地区	429	249	202	140	256	84	48	32	82	22	11	6
		100.0	58.0	47.1	32.6	59.7	19.6	11.2	7.5	19.1	5.1	2.6	1.4
	久賀地区	151	100	79	35	88	24	14	17	29	7	5	1
		100.0	66.2	52.3	23.2	58.3	15.9	9.3	11.3	19.2	4.6	3.3	0.7
	常磐地区	85	45	41	24	58	7	9	9	15	2	3	4
		100.0	52.9	48.2	28.2	68.2	8.2	10.6	10.6	17.6	2.4	3.5	4.7
	中地区	116	63	46	42	74	24	16	10	24	5	2	1
		100.0	54.3	39.7	36.2	63.8	20.7	13.8	8.6	20.7	4.3	1.7	0.9

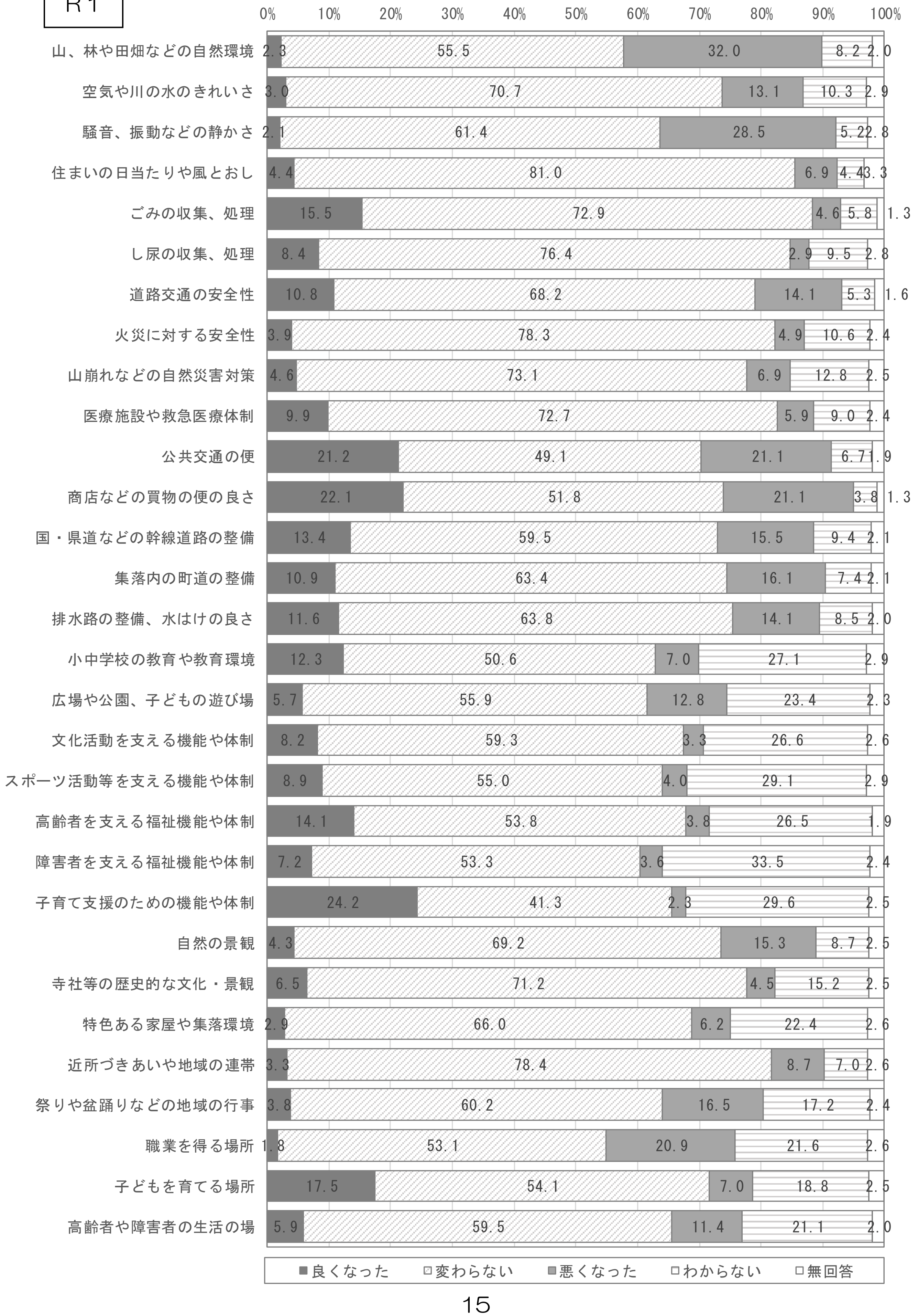
※H27 調査では「防災・防犯の拠点となる施設」「教育・子育て施設」「歴史・文化・芸術施設」なし

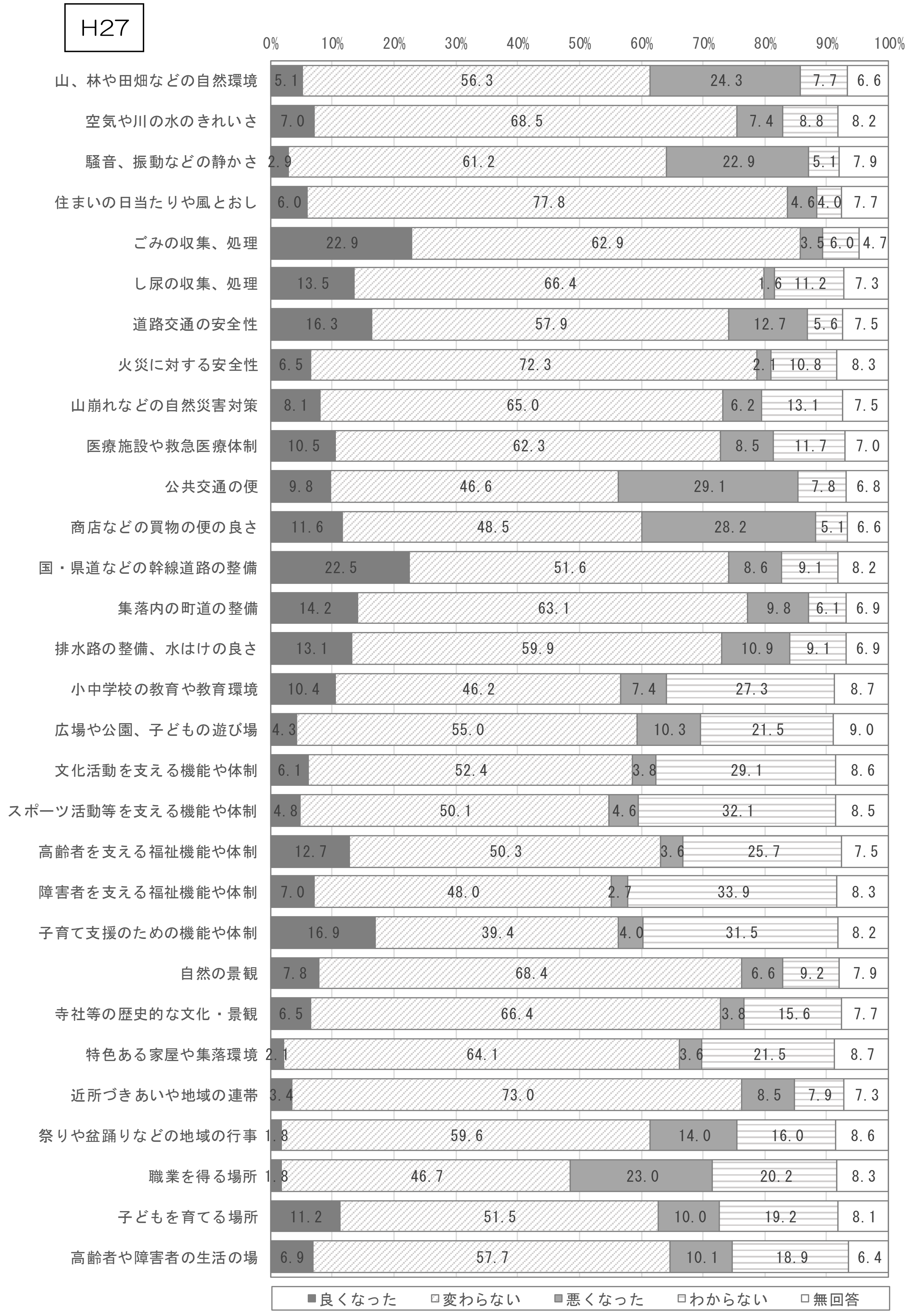
【問６】住んでいる地区の状況（単数回答）



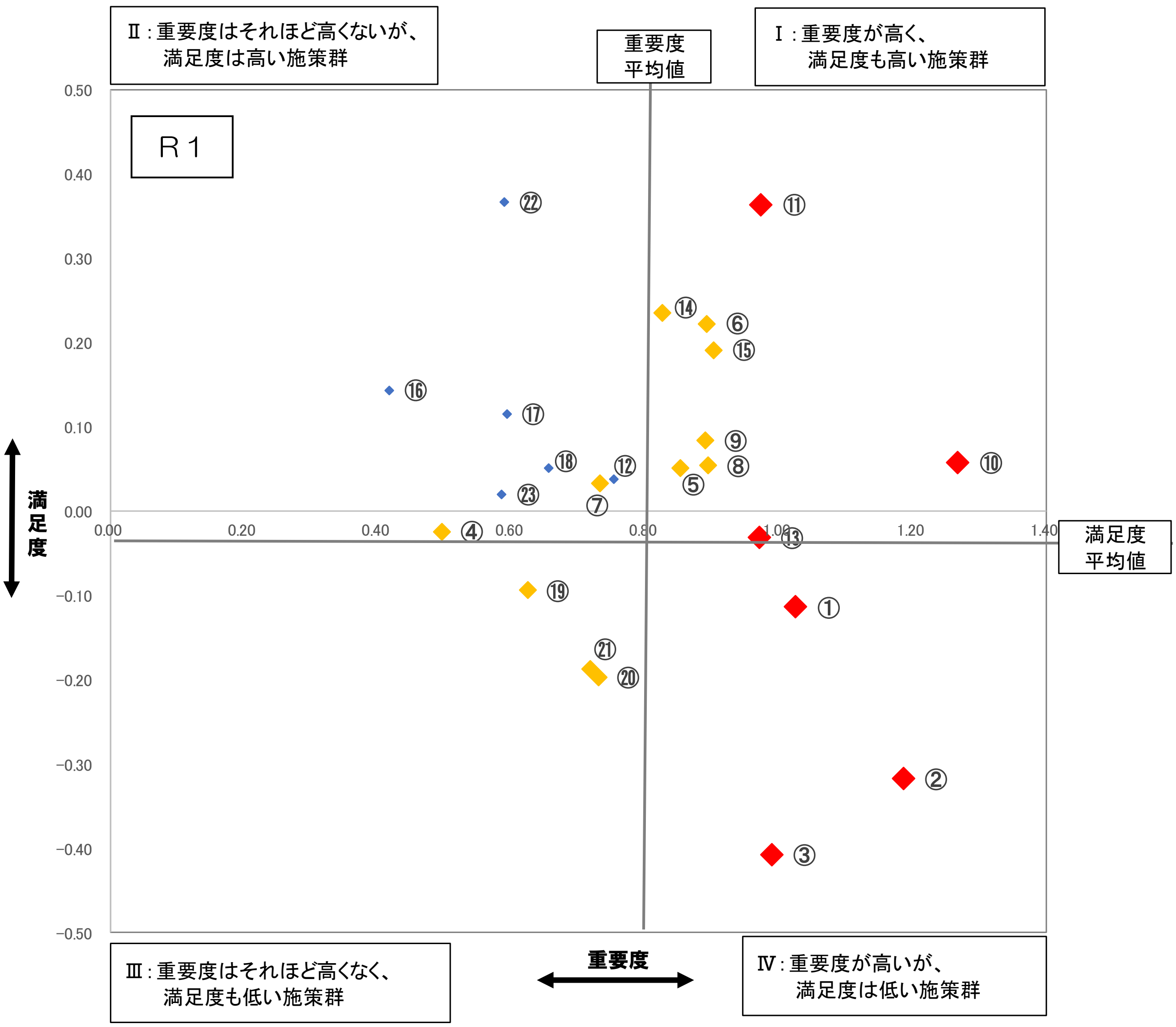
【問７】５年前と比べた変化（単数回答）

Ｒ１



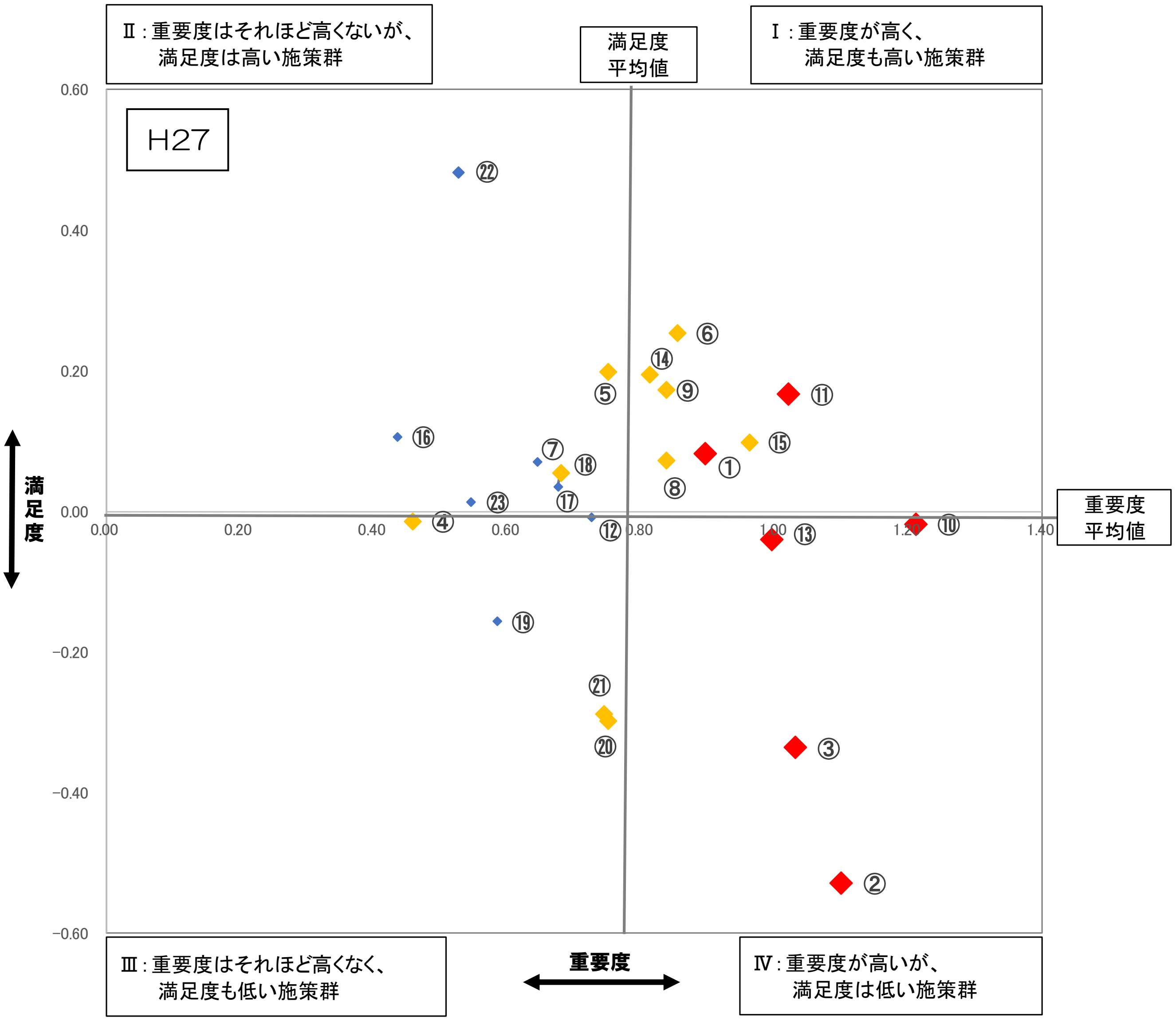

H27
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
山、林や田畑などの自然環境 5.1 56.3 24.3 7.7 6.6
空気や川の水のきれいさ 7.0 68.5 7.4 8.8 8.2
騒音、振動などの静かさ 2.9 61.2 22.9 5.1 7.9
住まいの日当たりや風とおし 6.0 77.8 4.6 4.0 7.7
ごみの収集、処理 22.9 62.9 3.5 6.0 4.7
し尿の収集、処理 13.5 66.4 1.6 11.2 7.3
道路交通の安全性 16.3 57.9 12.7 5.6 7.5
火災に対する安全性 6.5 72.3 2.1 10.8 8.3
山崩れなどの自然災害対策 8.1 65.0 6.2 13.1 7.5
医療施設や救急医療体制 10.5 62.3 8.5 11.7 7.0
公共交通の便 9.8 46.6 29.1 7.8 6.8
商店などの買物の便の良さ 11.6 48.5 28.2 5.1 6.6
国・県道などの幹線道路の整備 22.5 51.6 8.6 9.1 8.2
集落内の町道の整備 14.2 63.1 9.8 6.1 6.9
排水路の整備、水はけの良さ 13.1 59.9 10.9 9.1 6.9
小中学校の教育や教育環境 10.4 46.2 7.4 27.3 8.7
広場や公園、子どもの遊び場 4.3 55.0 10.3 21.5 9.0
文化活動を支える機能や体制 6.1 52.4 3.8 29.1 8.6
スポーツ活動等を支える機能や体制 4.8 50.1 4.6 32.1 8.5
高齢者を支える福祉機能や体制 12.7 50.3 3.6 25.7 7.5
障害者を支える福祉機能や体制 7.0 48.0 2.7 33.9 8.3
子育て支援のための機能や体制 16.9 39.4 4.0 31.5 8.2
自然の景観 7.8 68.4 6.6 9.2 7.9
寺社等の歴史的な文化・景観 6.5 66.4 3.8 15.6 7.7
特色ある家屋や集落環境 2.1 64.1 3.6 21.5 8.7
近所づきあいや地域の連帯 3.4 73.0 8.5 7.9 7.3
祭りや盆踊りなどの地域の行事 1.8 59.6 14.0 16.0 8.6
職業を得る場所 1.8 46.7 23.0 20.2 8.3
子どもを育てる場所 11.2 51.5 10.0 19.2 8.1
高齢者や障害者の生活の場 6.9 57.7 10.1 18.9 6.4
■良くなった □変わらない ■悪くなった □わからない □無回答

【問８】まちづくりの「満足度」「重要度」（単数回答）



①	国道、県道、町道の整備	⑬	高齢者福祉の充実
②	バス交通などの公共交通機能の強化	⑭	幼児教育の推進
③	歩道の整備	⑮	小・中学校教育の充実
④	公園や水辺の整備・保全	⑯	生涯学習の拡充
⑤	上水道の整備・下水処理の推進	⑰	青少年の健全育成
⑥	防災・消防対策の推進	⑱	高齢者の生きがいづくり
⑦	公害・環境対策の推進	⑲	農林業の振興
⑧	防犯対策の推進	⑳	商業の振興
⑨	交通安全対策の推進	㉑	工業振興・企業誘致
⑩	保健・医療の充実	㉒	交流拠点整備
⑪	子育て支援の充実	㉓	町政への町民参加の推進
⑫	身体障害者（児）及び精神障害者福祉の充実		

※回答者のうち、「どちらともいえない」以外を回答した方の数によって、
グラフのマークを区別。（◆：回答者が多い　◆：回答者が少ない）



①	国道、県道、町道の整備	⑬	高齢者福祉の充実
②	バス交通などの公共交通機能の強化	⑭	幼児教育の推進
③	歩道の整備	⑮	小・中学校教育の充実
④	公園や水辺の整備・保全	⑯	生涯学習の拡充
⑤	上水道の整備・下水処理の推進	⑰	青少年の健全育成
⑥	防災・消防対策の推進	⑱	高齢者の生きがいづくり
⑦	公害・環境対策の推進	⑲	農林業の振興
⑧	防犯対策の推進	⑳	商業の振興
⑨	交通安全対策の推進	㉑	工業振興・企業誘致
⑩	保健・医療の充実	㉒	交流拠点整備
⑪	子育て支援の充実	㉓	町政への町民参加の推進
⑫	身体障害者（児）及び精神障害者福祉の充実		

※回答者のうち、「どちらともいえない」以外を回答した方の数によって、
グラフのマークを区別。（◆：回答者が多い　◆：回答者が少ない）

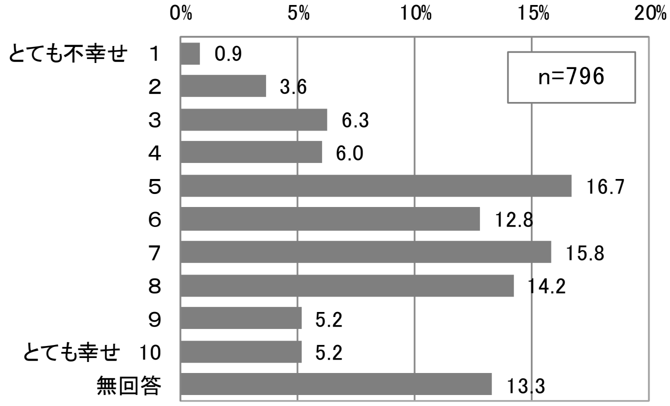
4．幸福度について

回答いただいた方の幸福度についてみてみると、全体としての平均点は 6.16 点（10 点満点）となった。そして、その幸福度の判断に重要な項目としては、「適度な運動・食事等、健康な生活を送れること」が最も多くなっている。

また年齢別にみてみると、幸福度平均点は 10・20 歳代で 5.61 点、30・40 歳代で 5.85 点、50 歳以上で 6.32 点と、年齢が若くなるにつれ、点数が下がっている状況がみてとれる。そして、幸福度の判断に重要な項目は、10・20 歳代では「生活を送るために必要な収入や貯蓄があること」、30・40 歳代では「家庭・家族間が平穏であること」が最も多く、年齢によって重要視する項目が異なっている。

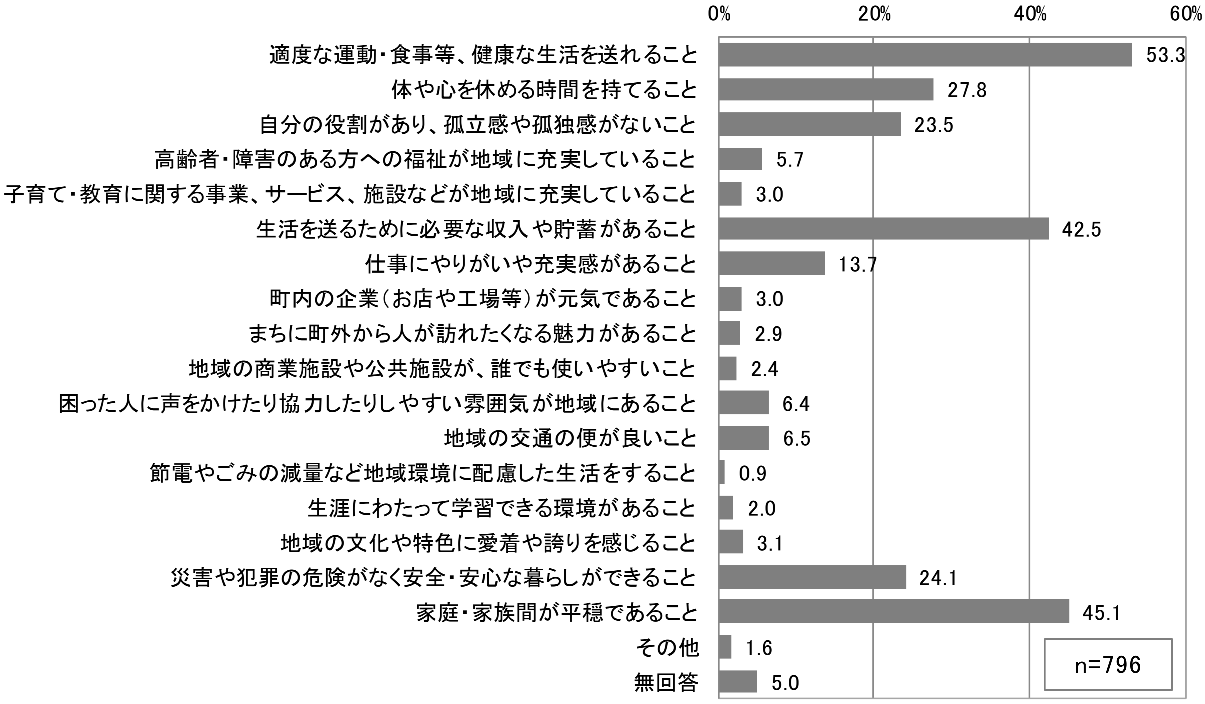
幸福度平均点を、男女別、年齢別でみると、女性の 50 歳代以上の 6.59 点が最も高く、男性の 30・40 歳代の 5.08 点が最も低くなっている。

【問９】現在の幸福度（単数回答）



幸福度　平均点		
全体		6.16点
男		5.80点
女		6.46点
10・20歳代		5.61点
30・40歳代		5.85点
50歳以上		6.32点
幸福度　平均点　詳細		
男	10・20歳代	5.45点
	30・40歳代	5.08点
	50歳以上	6.06点
女	10・20歳代	5.76点
	30・40歳代	6.35点
	50歳以上	6.59点

【問 10】幸福度の判断に重要な項目（複数回答）



		合計	適度な運動・食事等、健康な生活を送れること	体や心を休める時間を持てること	自分の役割があり、孤立感や孤独感がないこと	高齢者・障害のある方への福祉が地域に充実していること	子育て・教育に関する事業、サービス、施設などが地域に充実していること	生活を送るために必要な収入や貯蓄があること	仕事にやりがいや充実感があること	町内の企業（お店や工場等）が元気であること	まちに町外から人が訪れたくなる魅力があること	地域の商業施設や公共施設が、誰でも使いやすいこと	困った人に声をかけたり協力したりしやすい雰囲気が地域にあること	地域の交通の便が良いこと	節電やごみの減量など地域環境に配慮した生活をすること	生涯にわたって学習できる環境があること	地域の文化や特色に愛着や誇りを感じること	災害や犯罪の危険がなく安全・安心な暮らしができること	家庭・家族間が平穏であること	その他	無回答
全体		796	424	221	187	45	24	338	109	24	23	19	51	52	7	16	25	192	359	13	40
		100.0	53.3	27.8	23.5	5.7	3.0	42.5	13.7	3.0	2.9	2.4	6.4	6.5	0.9	2.0	3.1	24.1	45.1	1.6	5.0
性別	男	351	184	89	74	22	14	159	56	16	11	10	27	24	5	5	16	80	134	7	18
		100.0	52.4	25.4	21.1	6.3	4.0	45.3	16.0	4.6	3.1	2.8	7.7	6.8	1.4	1.4	4.6	22.8	38.2	2.0	5.1
	女	401	218	125	102	19	10	158	49	6	11	7	23	23	1	11	9	104	204	6	18
		100.0	54.4	31.2	25.4	4.7	2.5	39.4	12.2	1.5	2.7	1.7	5.7	5.7	0.2	2.7	2.2	25.9	50.9	1.5	4.5
年齢	10・20歳代	73	32	32	12	4	5	36	12	4	4	7	0	13	2	1	2	10	20	2	1
		100.0	43.8	43.8	16.4	5.5	6.8	49.3	16.4	5.5	5.5	9.6	0.0	17.8	2.7	1.4	2.7	13.7	27.4	2.7	1.4
	30・40歳代	158	71	63	31	5	11	78	24	4	4	5	17	11	2	3	1	33	80	6	2
		100.0	44.9	39.9	19.6	3.2	7.0	49.4	15.2	2.5	2.5	3.2	10.8	7.0	1.3	1.9	0.6	20.9	50.6	3.8	1.3
	50歳以上	560	318	125	144	36	8	222	72	16	15	7	34	27	3	12	22	148	256	5	37
		100.0	56.8	22.3	25.7	6.4	1.4	39.6	12.9	2.9	2.7	1.3	6.1	4.8	0.5	2.1	3.9	26.4	45.7	0.9	6.6

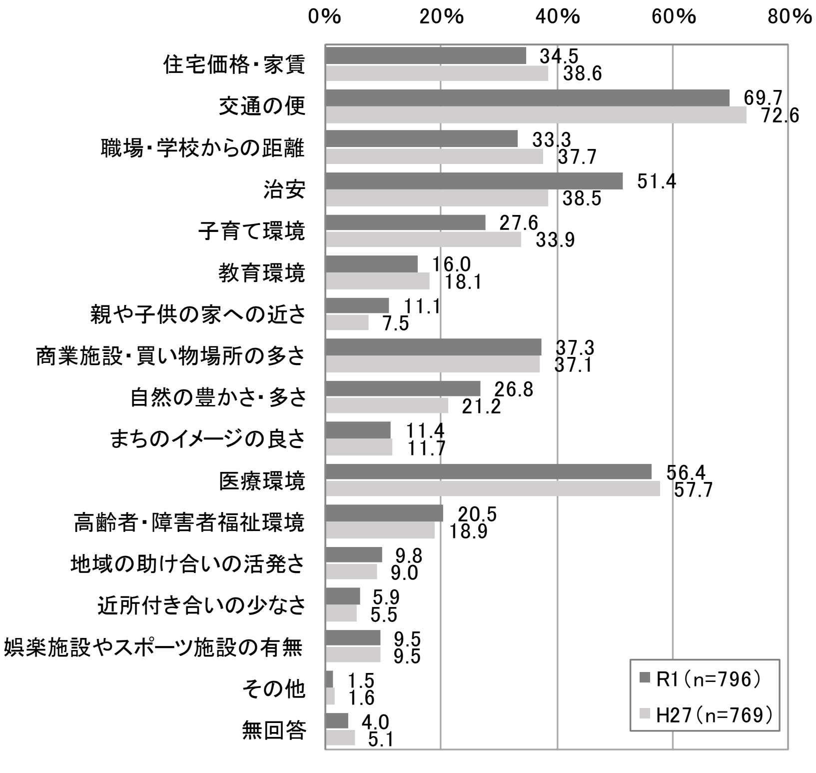
5．多古町の人口増加策について

住環境として重視するものは「交通の便」が最も多くなっており、利便性に関する部分が定住意向の部分と同様に意見として挙がっている。また、若い世代が多古町に定住するために必要なこととして「成田や千葉、東京への交通利便性の更なる向上と通勤・通学圏の拡大」が挙げられており、さらに、多古町が活かしていくべき強みとしても「成田空港への近さ」が最も多くなっている。しかし、「国道、県道、町道の整備」の部分は、満足度が下がっていることもあり、交通の便については今後も取り組むべき部分であると考えられる。

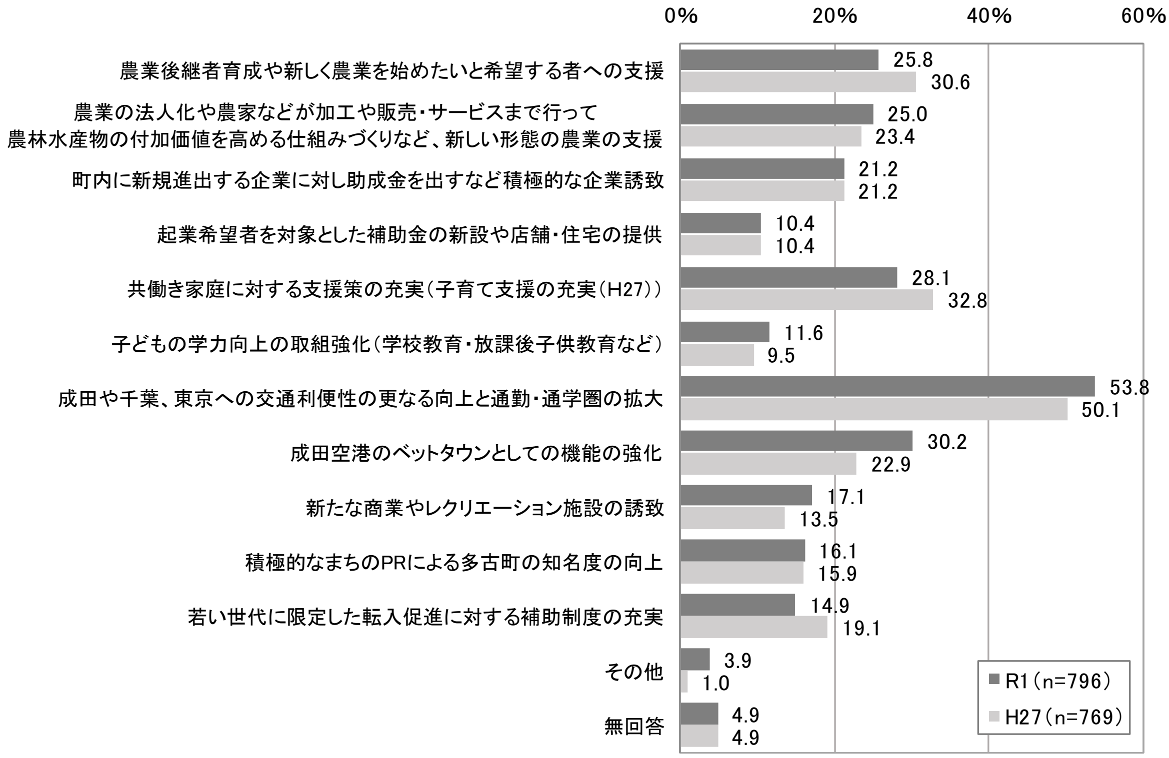
また、10・20 歳代の『地元で働きたい』と考える方の割合は 45.2％と半数近くとなっているため、そういった方の希望が叶うと、若年層の就労に繋がる可能性もある。

また、多古町の農業に関しては、「食品加工業者等との連携を強化し、農産物を加工して商品化・生産する仕組み作り」が重要と考える方が多く、６次産業化も含めた農業の振興が必要と考えられる。

【問 11】住環境として重視するもの（複数回答）

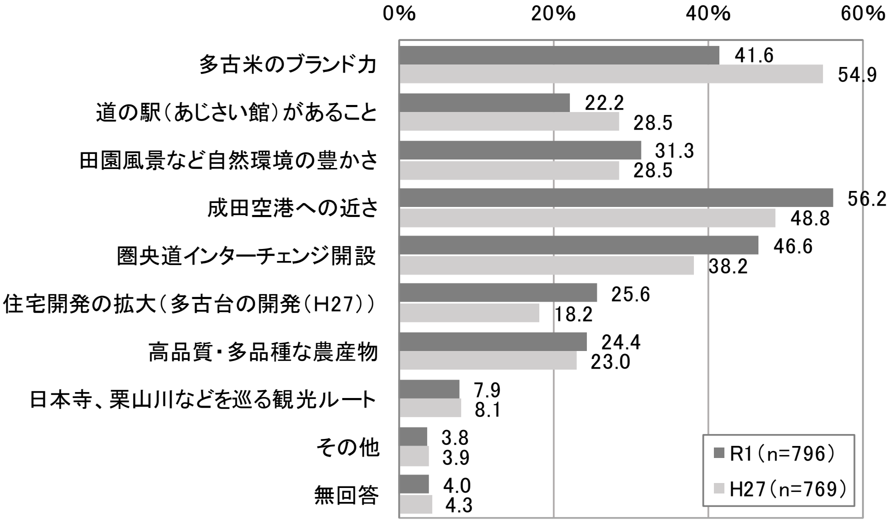


【問 12】若い世代が多古町に定住するために必要なこと（複数回答）

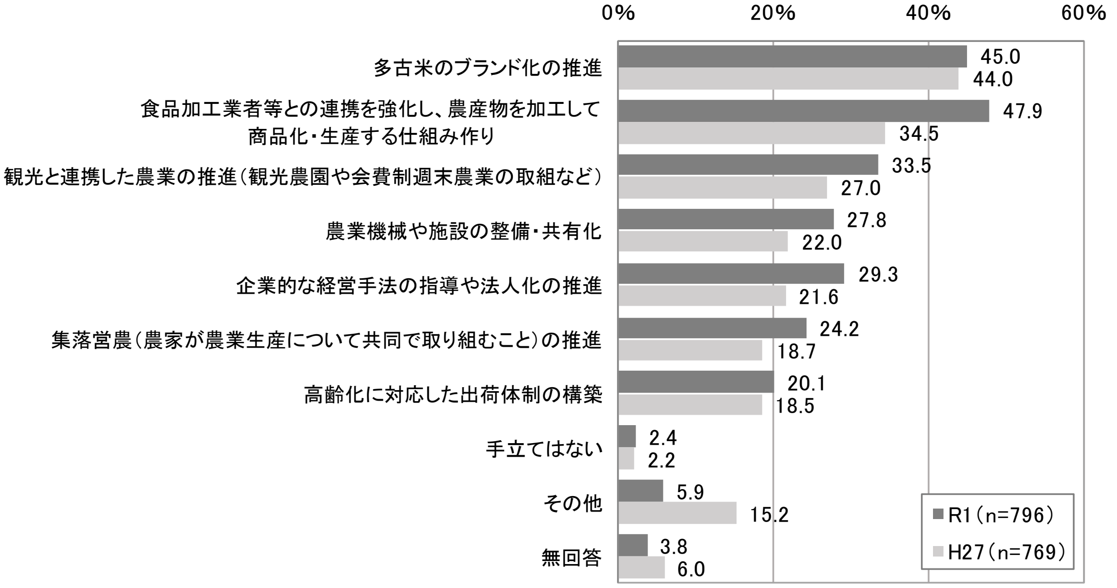


		合計	農業後継者育成や新しく農業を始めたいと希望する者への支援	農林水産物の付加価値を高める仕組みづくりなど、新しい形態の農業の支援	町内に新規進出する企業に対し助成金を出すなど積極的な企業誘致	起業希望者を対象とした補助金の新設や店舗・住宅の提供	共働き家庭に対する支援策の充実	子どもの学力向上の取組強化（学校教育・放課後子供教育など）	成田や千葉、東京への交通利便性の更なる向上と通勤・通学圏の拡大	成田空港のベットタウンとしての機能の強化	新たな商業やレクリエーション施設の誘致	積極的なまちのPRによる多古町の知名度の向上	若い世代に限定した転入促進に対する補助制度の充実	その他	無回答
全体		796	205	199	169	83	224	92	428	240	136	128	119	31	39
		100.0	25.8	25.0	21.2	10.4	28.1	11.6	53.8	30.2	17.1	16.1	14.9	3.9	4.9
性別	男	351	83	94	73	38	88	44	189	112	64	57	58	17	16
		100.0	23.6	26.8	20.8	10.8	25.1	12.5	53.8	31.9	18.2	16.2	16.5	4.8	4.6
	女	401	110	92	88	45	128	48	215	109	65	63	58	14	18
		100.0	27.4	22.9	21.9	11.2	31.9	12.0	53.6	27.2	16.2	15.7	14.5	3.5	4.5
年齢	10・20歳代	73	14	3	14	9	23	10	54	18	18	10	8	8	0
		100.0	19.2	4.1	19.2	12.3	31.5	13.7	74.0	24.7	24.7	13.7	11.0	11.0	0.0
	30・40歳代	158	38	26	33	14	51	26	100	44	37	21	21	9	4
		100.0	24.1	16.5	20.9	8.9	32.3	16.5	63.3	27.8	23.4	13.3	13.3	5.7	2.5
	50歳以上	560	153	168	121	60	148	56	272	176	79	96	90	14	35
		100.0	27.3	30.0	21.6	10.7	26.4	10.0	48.6	31.4	14.1	17.1	16.1	2.5	6.3

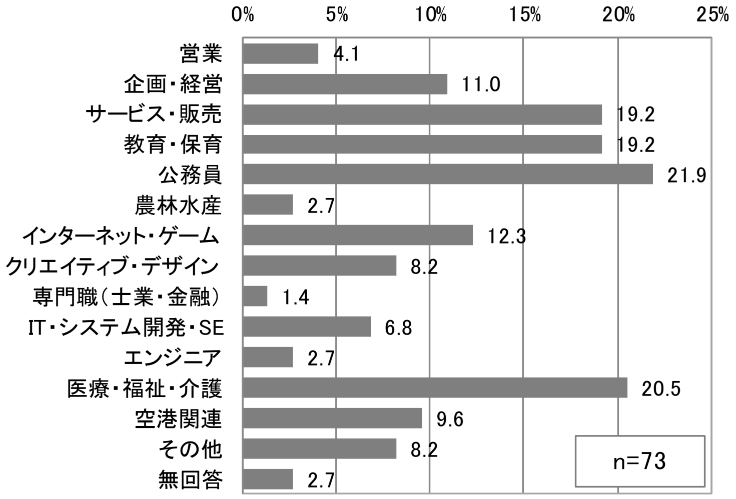
【問 13】多古町が活かしていくべき強み（複数回答）



【問 14】多古町の農業を元気にしていくための方策（複数回答）

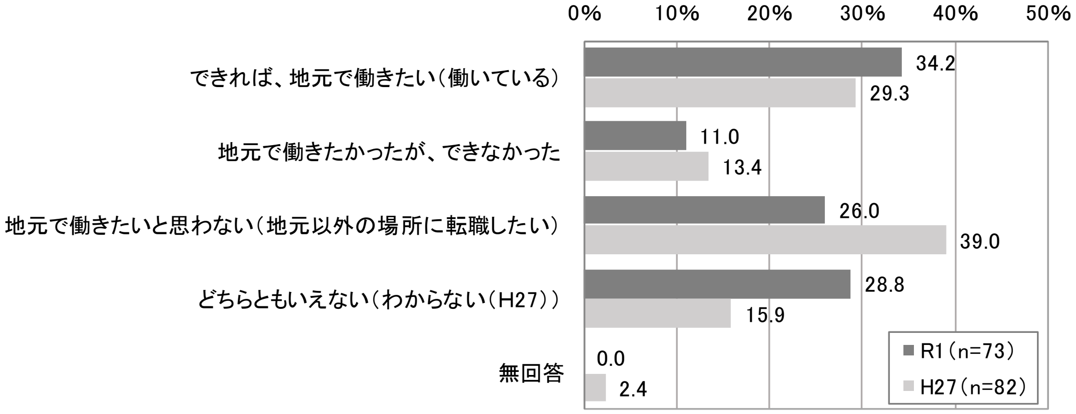


【問 15】働きたい職種（複数回答）【10・20 歳代限定】



		合計	営業	企画・経営	サービス・販売	教育・保育	公務員	農林水産	インターネット・	クリエイティブ・デザイン	専門職（士業・金融）	IT・システム開発・SE	エンジニア	医療・福祉・介護	空港関連	その他	無回答
全体		73	3	8	14	14	16	2	9	6	1	5	2	15	7	6	2
		100.0	4.1	11.0	19.2	19.2	21.9	2.7	12.3	8.2	1.4	6.8	2.7	20.5	9.6	8.2	2.7
性別	男	35	3	5	6	3	12	2	7	1	0	3	0	5	2	2	2
		100.0	8.6	14.3	17.1	8.6	34.3	5.7	20.0	2.9	0.0	8.6	0.0	14.3	5.7	5.7	5.7
	女	38	0	3	8	11	4	0	2	5	1	2	2	10	5	4	0
		100.0	0.0	7.9	21.1	28.9	10.5	0.0	5.3	13.2	2.6	5.3	5.3	26.3	13.2	10.5	0.0

【問 16】地元での就職希望（単数回答）【10・20 歳代限定】



６．あなたの結婚の状況及びその意向等について【10～40 歳代限定】

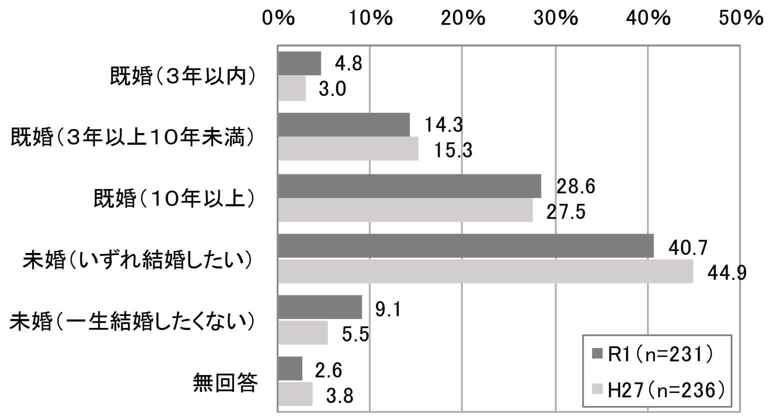
アンケート回答者の婚姻の状況としては、「既婚」が 47.7%、「未婚」が 49.8%となっている。

また、未婚者のうち８割以上が「いずれは結婚したい」と考えており、未婚者が独身でいる理由は「適当な相手にまだ巡り会わないから」が最も多く、出会いの機会の創出が必要と考えられる。

既婚者に対して予定する子どもの数と理想とする子どもの数を伺うと、予定する子どもの数より理想とする子どもの数の方が多くなっており、その理由としては「一人当たりの教育費が高すぎるから」「年齢的な心配があるから（高齢出産等）」が多く挙がっているため、経済的な助成も支援の１つとして検討する必要があると考えられる。

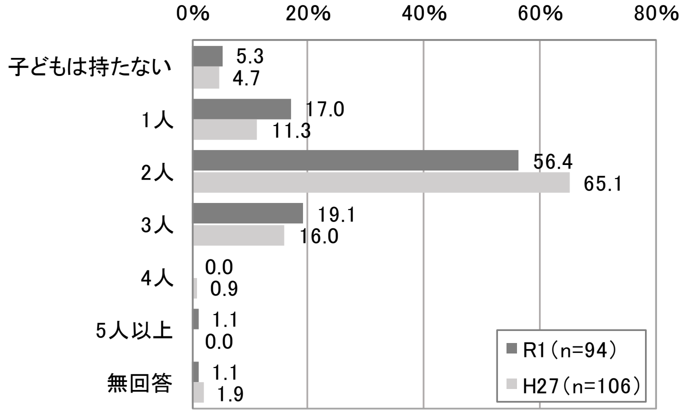
そして、充実してほしい子育て支援策としては「安心して子供が医療機関を受診できる体制の整備」が最も多くなっており、住環境で重視する「医療環境」とも関連する意見が挙がっている。

【問 17】結婚の状況（単数回答）

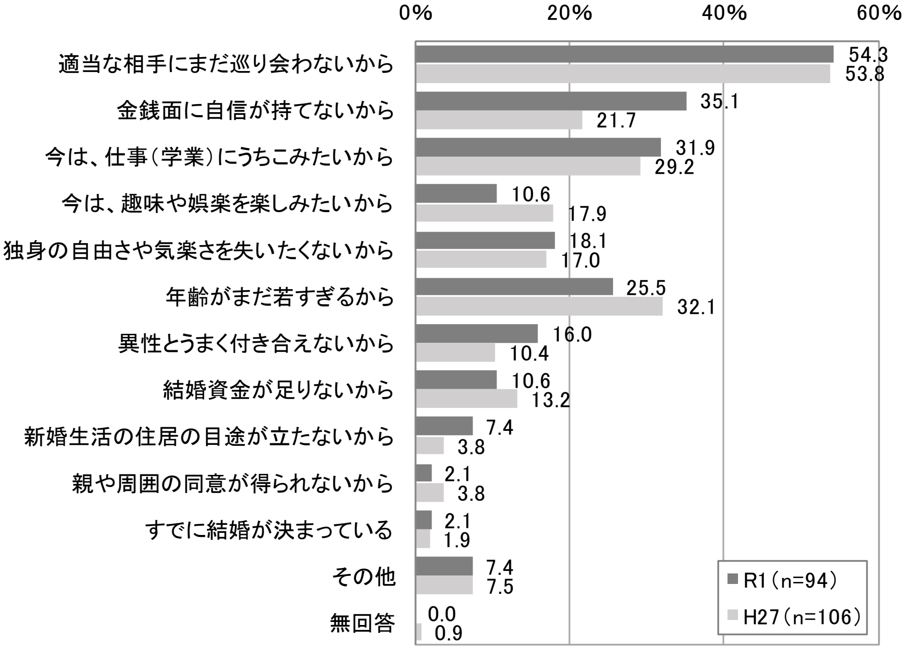


		合計	既婚（３年以内）	既婚（３年以上１０年未満）	既婚（１０年以上）	未婚（いずれ結婚したい）	未婚（一生結婚したくない）	無回答
全体		231 100.0	11 4.8	33 14.3	66 28.6	94 40.7	21 9.1	6 2.6
性別	男	103 100.0	5 4.9	12 11.7	23 22.3	51 49.5	10 9.7	2 1.9
	女	122 100.0	5 4.1	21 17.2	42 34.4	41 33.6	11 9.0	2 1.6
年齢	10・20歳代	73 100.0	5 6.8	1 1.4	0 0.0	56 76.7	10 13.7	1 1.4
	30・40歳代	158 100.0	6 3.8	32 20.3	66 41.8	38 24.1	11 7.0	5 3.2

【問18】理想とする子どもの人数（単数回答）【未婚で結婚希望者限定】

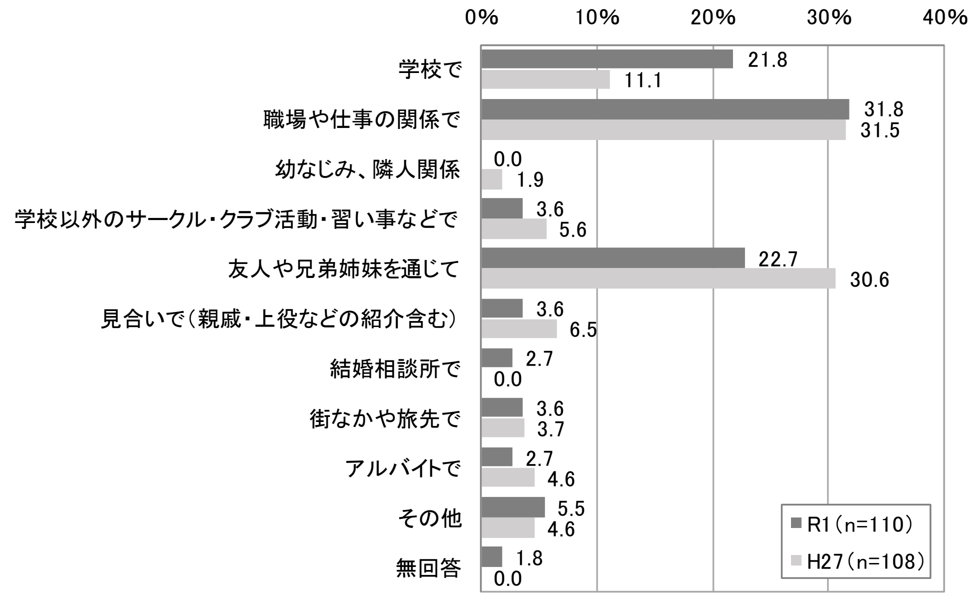


【問19】独身でいる理由（複数回答）【未婚者限定】

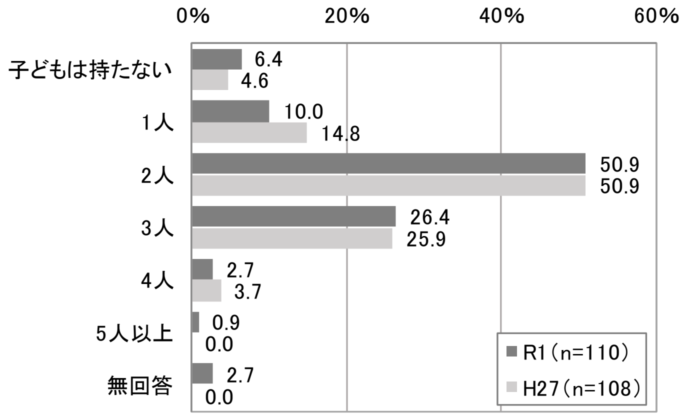


		合計	適当な相手にまだ巡り会わないから	金銭面に自信が持てないから	今は、仕事（学業）にうちこみたいから	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	年齢がまだ若すぎるから	異性とうまく付き合えないから	結婚資金が足りないから	新婚生活の住居の目途が立たないから	親や周囲の同意が得られないから	すでに結婚が決まっている	その他	無回答
全体		94	51	33	30	10	17	24	15	10	7	2	2	7	0
		100.0	54.3	35.1	31.9	10.6	18.1	25.5	16.0	10.6	7.4	2.1	2.1	7.4	0.0
性別	男	51	27	21	11	7	6	13	10	6	5	1	2	2	0
		100.0	52.9	41.2	21.6	13.7	11.8	25.5	19.6	11.8	9.8	2.0	3.9	3.9	0.0
	女	41	22	11	19	3	11	11	5	3	2	1	0	5	0
		100.0	53.7	26.8	46.3	7.3	26.8	26.8	12.2	7.3	4.9	2.4	0.0	12.2	0.0
年齢	10・20歳代	56	22	17	25	7	7	24	5	5	3	2	1	5	0
		100.0	39.3	30.4	44.6	12.5	12.5	42.9	8.9	8.9	5.4	3.6	1.8	8.9	0.0
	30・40歳代	38	29	16	5	3	10	0	10	5	4	0	1	2	0
		100.0	76.3	42.1	13.2	7.9	26.3	0.0	26.3	13.2	10.5	0.0	2.6	5.3	0.0
	50歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

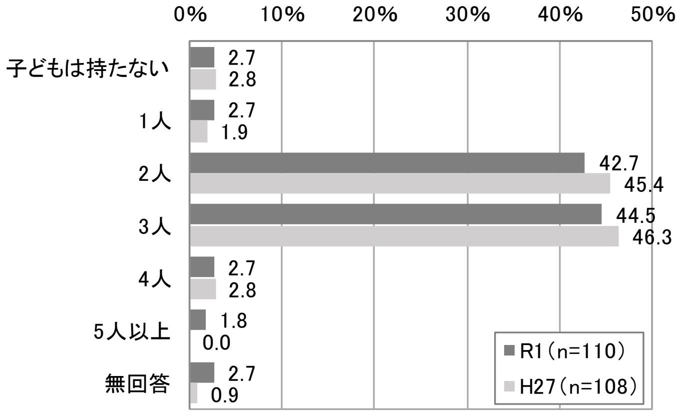
【問 20】配偶者に知り合ったきっかけ（単数回答）【既婚者限定】



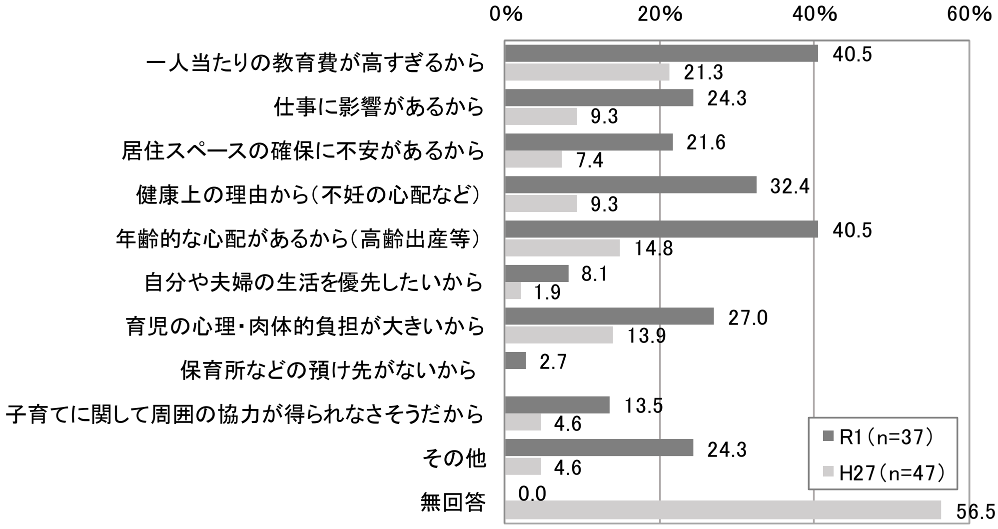
【問 21】予定する子どもの人数（単数回答）【既婚者限定】



【問 22】理想とする子どもの人数（単数回答）【既婚者限定】

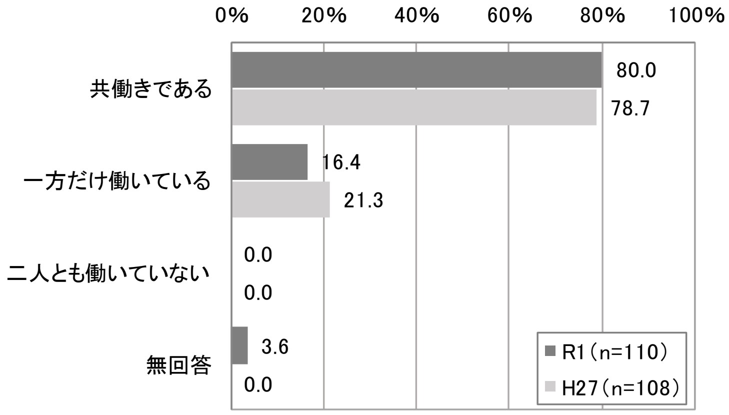


【問 23】理想よりも予定する子どもの人数が少ない理由（複数回答）【理想の子ども人数より予定する子ども人数が少ない方限定】



※H27 調査では「保育所などの預け先がないから」なし

【問 24】共働きの状況（単数回答）【既婚者限定】



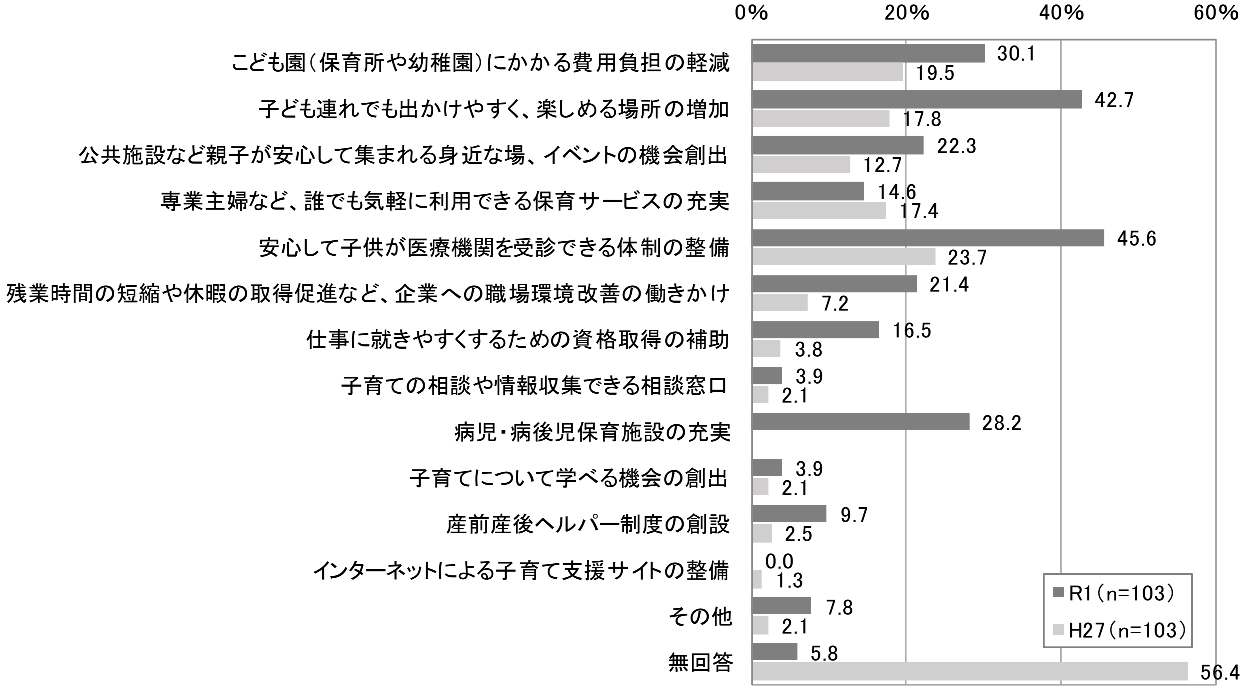
		合計	共働きである	どちらか一方だけ働いている	二人とも働いていない	無回答
全体		110 100.0	88 80.0	18 16.4	0 0.0	4 3.6
性別	男	40 100.0	31 77.5	8 20.0	0 0.0	1 2.5
	女	68 100.0	56 82.4	9 13.2	0 0.0	3 4.4
年齢	10・20歳代	6 100.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0
	30・40歳代	104 100.0	85 81.7	15 14.4	0 0.0	4 3.8
	50歳以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

参考：子ども子育て支援事業計画策定アンケートから抜粋

○祖父母の同居の状況は、就学前児童がいる家庭、小学生がいる家庭とも３～４割程度となっている。

○就学前児童がいる家庭に、子育てを主にする方についてうかがうと、「父母ともに」が７割と、多くの家庭で両親協働での子育てが実現している。また、「祖父母」も 45.5%となっており、半数近くが子育てに参加している状況である。

【問 25】充実してほしい子育て支援策（複数回答）【子どもがいる方限定】



		合計	こども園（保育所や幼稚園）にかかる費用負担の軽減	子ども連れでも出かけやすく、楽しめる場所の増加	公共施設など親子が安心して集まれる身近な場イベントの機会創出	専業主婦など、誰でも気軽に利用できる保育サービスの充実	安心して子供が医療機関を受診できる体制の整備	残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業への職場環境改善の働きかけ	仕事に就きやすくするための資格取得の補助	子育ての相談や情報収集できる相談窓口	病児・病後児保育施設の充実	子育てについて学べる機会の創出	産前産後ヘルパー制度の創設	インターネットによる子育て支援サイトの整備	その他	無回答
全体		103	31	44	23	15	47	22	17	4	29	4	10	0	8	6
		100.0	30.1	42.7	22.3	14.6	45.6	21.4	16.5	3.9	28.2	3.9	9.7	0.0	7.8	5.8
性別	男	37	15	21	9	7	15	6	6	1	13	1	2	0	2	1
		100.0	40.5	56.8	24.3	18.9	40.5	16.2	16.2	2.7	35.1	2.7	5.4	0.0	5.4	2.7
	女	64	16	23	14	8	31	16	11	3	16	3	8	0	5	4
		100.0	25.0	35.9	21.9	12.5	48.4	25.0	17.2	4.7	25.0	4.7	12.5	0.0	7.8	6.3
年齢	10・20歳代	6	2	4	2	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	1
		100.0	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7
	30・40歳代	97	29	40	21	15	47	21	16	3	28	4	9	0	8	5
		100.0	29.9	41.2	21.6	15.5	48.5	21.6	16.5	3.1	28.9	4.1	9.3	0.0	8.2	5.2
	50歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	多古地区	61	19	28	14	8	27	13	10	3	18	2	7	0	5	4
		100.0	31.1	45.9	23.0	13.1	44.3	21.3	16.4	4.9	29.5	3.3	11.5	0.0	8.2	6.6
	久賀地区	16	2	8	6	2	5	3	2	0	3	0	2	0	1	2
		100.0	12.5	50.0	37.5	12.5	31.3	18.8	12.5	0.0	18.8	0.0	12.5	0.0	6.3	12.5
	常磐地区	9	3	4	1	2	4	3	1	1	3	1	0	0	0	0
		100.0	33.3	44.4	11.1	22.2	44.4	33.3	11.1	11.1	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	中地区	16	7	4	2	3	10	3	3	0	5	1	1	0	2	0
		100.0	43.8	25.0	12.5	18.8	62.5	18.8	18.8	0.0	31.3	6.3	6.3	0.0	12.5	0.0

７．情報発信について

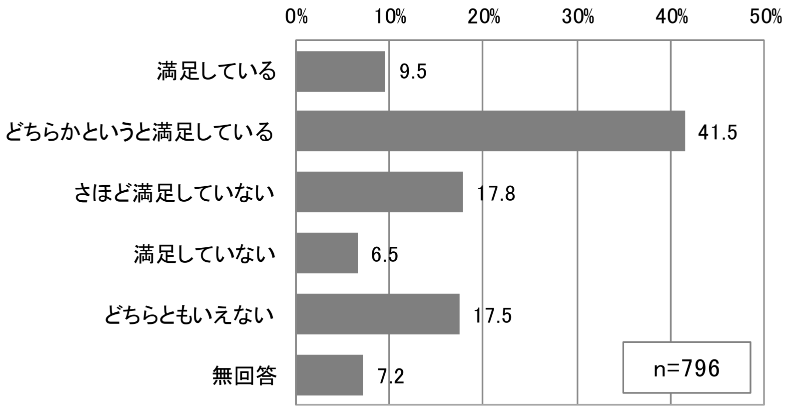
町からの情報発信について『満足している』方は、51.0%と半数以上となっている。しかし、年齢別にみてみると、10・20 歳代では『満足している』は 42.4%と低くなっている。

情報発信不足を感じる方が不足していると感じる情報を年齢別にみてみると、10～40 歳代では「イベント」に関する情報が不足していると多くの方が感じており、そういった部分を今後発信していけると、若年層における情報発信に対して満足する方の割合も増加する可能性がある。

また、情報発信不足を感じる方が不足していると感じる情報を、全体でみてみると、「町政の動き」が最も多くなっているが、町政への町民の意見は 54.5%と半数以上が『反映されている』と回答している。

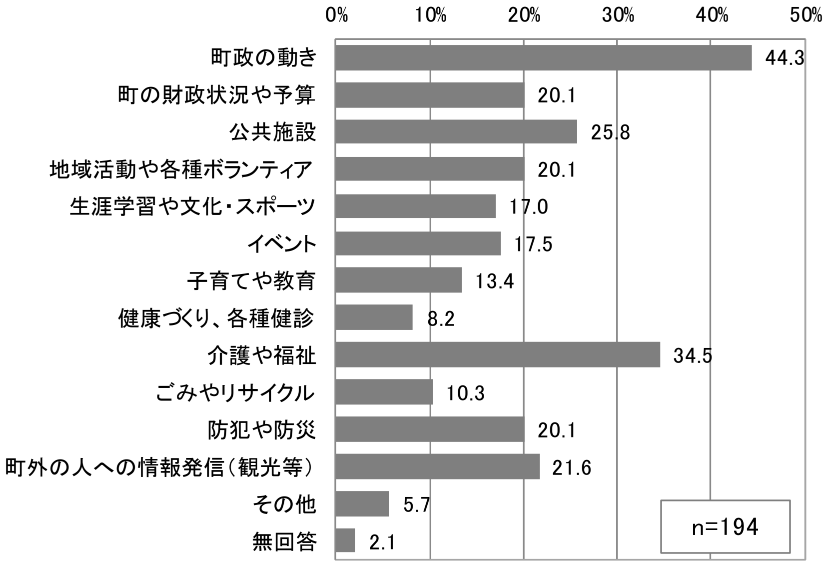
今後情報発信として力を入れていくべき点としては「広報・パンフレット」が最も多くなっている。またこちらも年齢別にみてみると、10～40 歳代では「町ホームページやインターネット」が多くなっており、様々な媒体を介した情報発信が求められている。

【問 26】町からの情報発信（単数回答）



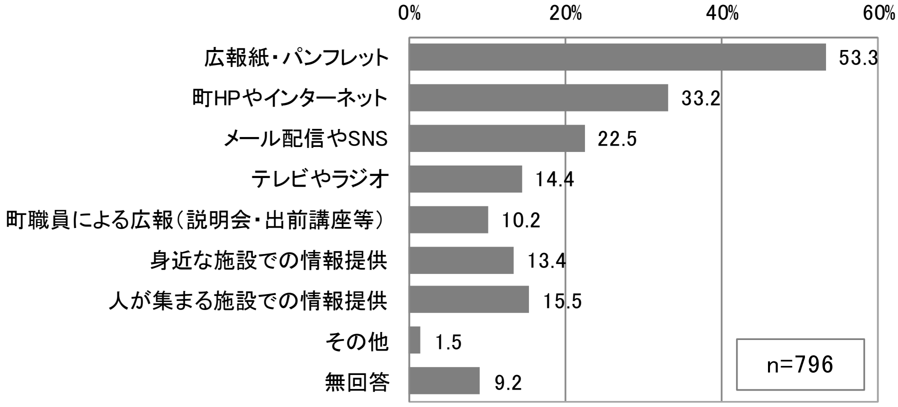
		合計	満足している	どちらかというと満足している	さほど満足していない	満足していない	どちらともいえない	無回答
全体		796	76	330	142	52	139	57
		100.0	9.5	41.5	17.8	6.5	17.5	7.2
性別	男	351	24	153	72	24	64	14
		100.0	6.8	43.6	20.5	6.8	18.2	4.0
	女	401	46	162	64	23	72	34
		100.0	11.5	40.4	16.0	5.7	18.0	8.5
年齢	10・20歳代	73	5	26	9	5	24	4
		100.0	6.8	35.6	12.3	6.8	32.9	5.5
	30・40歳代	158	14	67	37	16	23	1
		100.0	8.9	42.4	23.4	10.1	14.6	0.6
	50歳以上	560	55	236	95	30	92	52
		100.0	9.8	42.1	17.0	5.4	16.4	9.3

【問 27】発信が不足している情報内容（複数回答）【情報発信不足を感じる方限定】



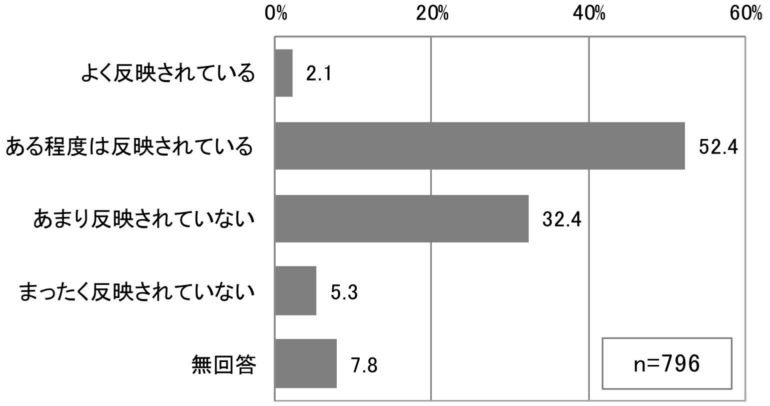
		合計	町政の動き	町の財政状況や予算	公共施設	地域活動や各種ボランティア	生涯学習や文化・スポーツ	イベント	子育てや教育	健康づくり、各種健診	介護や福祉	ごみやリサイクル	防犯や防災	町外の人への情報発信（観光等）	その他	無回答
全体		194	86	39	50	39	33	34	26	16	67	20	39	42	11	4
		100.0	44.3	20.1	25.8	20.1	17.0	17.5	13.4	8.2	34.5	10.3	20.1	21.6	5.7	2.1
性別	男	96	47	23	27	18	17	16	12	7	32	9	18	27	6	0
		100.0	49.0	24.0	28.1	18.8	17.7	16.7	12.5	7.3	33.3	9.4	18.8	28.1	6.3	0.0
	女	87	34	14	21	21	13	14	11	8	33	11	20	11	4	4
		100.0	39.1	16.1	24.1	24.1	14.9	16.1	12.6	9.2	37.9	12.6	23.0	12.6	4.6	4.6
年齢	10・20歳代	14	6	1	3	2	4	7	0	2	1	0	4	6	1	0
		100.0	42.9	7.1	21.4	14.3	28.6	50.0	0.0	14.3	7.1	0.0	28.6	42.9	7.1	0.0
	30・40歳代	53	16	10	17	9	8	18	10	2	9	5	8	12	4	2
		100.0	30.2	18.9	32.1	17.0	15.1	34.0	18.9	3.8	17.0	9.4	15.1	22.6	7.5	3.8
	50歳以上	125	63	28	30	27	21	8	16	11	56	15	27	24	6	2
		100.0	50.4	22.4	24.0	21.6	16.8	6.4	12.8	8.8	44.8	12.0	21.6	19.2	4.8	1.6

【問 28】情報提供について力を入れていくべき点（複数回答）



		合計	広報紙・パンフレット	町HPやインターネット	メール配信やSNS	テレビやラジオ	町職員による広報	身近な施設での情報提供	人が集まる施設での情報提供	その他	無回答
全体		796	424	264	179	115	81	107	123	12	73
		100.0	53.3	33.2	22.5	14.4	10.2	13.4	15.5	1.5	9.2
性別	男	351	175	136	85	59	43	40	49	5	25
		100.0	49.9	38.7	24.2	16.8	12.3	11.4	14.0	1.4	7.1
	女	401	232	116	89	50	34	62	66	6	37
		100.0	57.9	28.9	22.2	12.5	8.5	15.5	16.5	1.5	9.2
年齢	10・20歳代	73	23	36	31	19	3	3	6	1	4
		100.0	31.5	49.3	42.5	26.0	4.1	4.1	8.2	1.4	5.5
	30・40歳代	158	66	76	59	25	7	15	25	2	12
		100.0	41.8	48.1	37.3	15.8	4.4	9.5	15.8	1.3	7.6
	50歳以上	560	334	150	89	70	71	88	90	9	56
		100.0	59.6	26.8	15.9	12.5	12.7	15.7	16.1	1.6	10.0

【問 29】町政への町民の意見の反映度（単数回答）



		合計	よく反映されている	ある程度は反映されている	あまり反映されていない	まったく反映されていない	無回答
全体		796	17	417	258	42	62
		100.0	2.1	52.4	32.4	5.3	7.8
性別	男	351	8	173	132	19	19
		100.0	2.3	49.3	37.6	5.4	5.4
	女	401	9	218	121	20	33
		100.0	2.2	54.4	30.2	5.0	8.2
年齢	10・20歳代	73	1	43	25	2	2
		100.0	1.4	58.9	34.2	2.7	2.7
	30・40歳代	158	5	88	49	12	4
		100.0	3.2	55.7	31.0	7.6	2.5
	50歳以上	560	11	282	184	27	56
		100.0	2.0	50.4	32.9	4.8	10.0

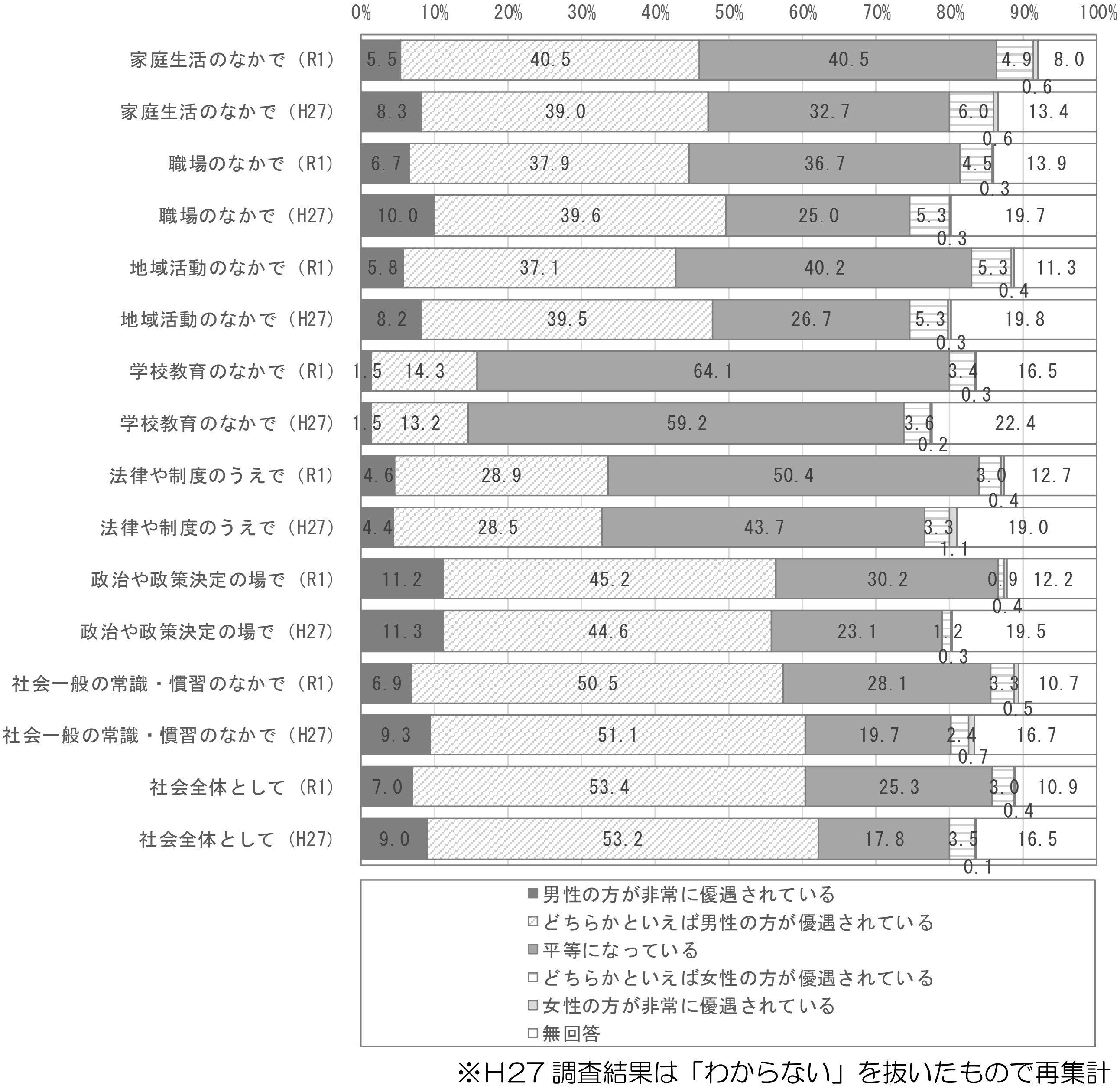
８．男女共同参画社会について

男女平等について、家庭や職場等の様々な状況における平等性についても、「男は仕事、女は家庭」といった男女にかかわる役割や向き不向きといった認識についても、家庭内の役割としても、全体的に、男女の平等が進んでいる状況がみられる。

特に、「男は仕事、女は家庭」といった男女にかかわる役割についての考え方としては、年齢が若くなると反対する割合が高くなっており、男女平等の考え方の啓発が進んでいる。

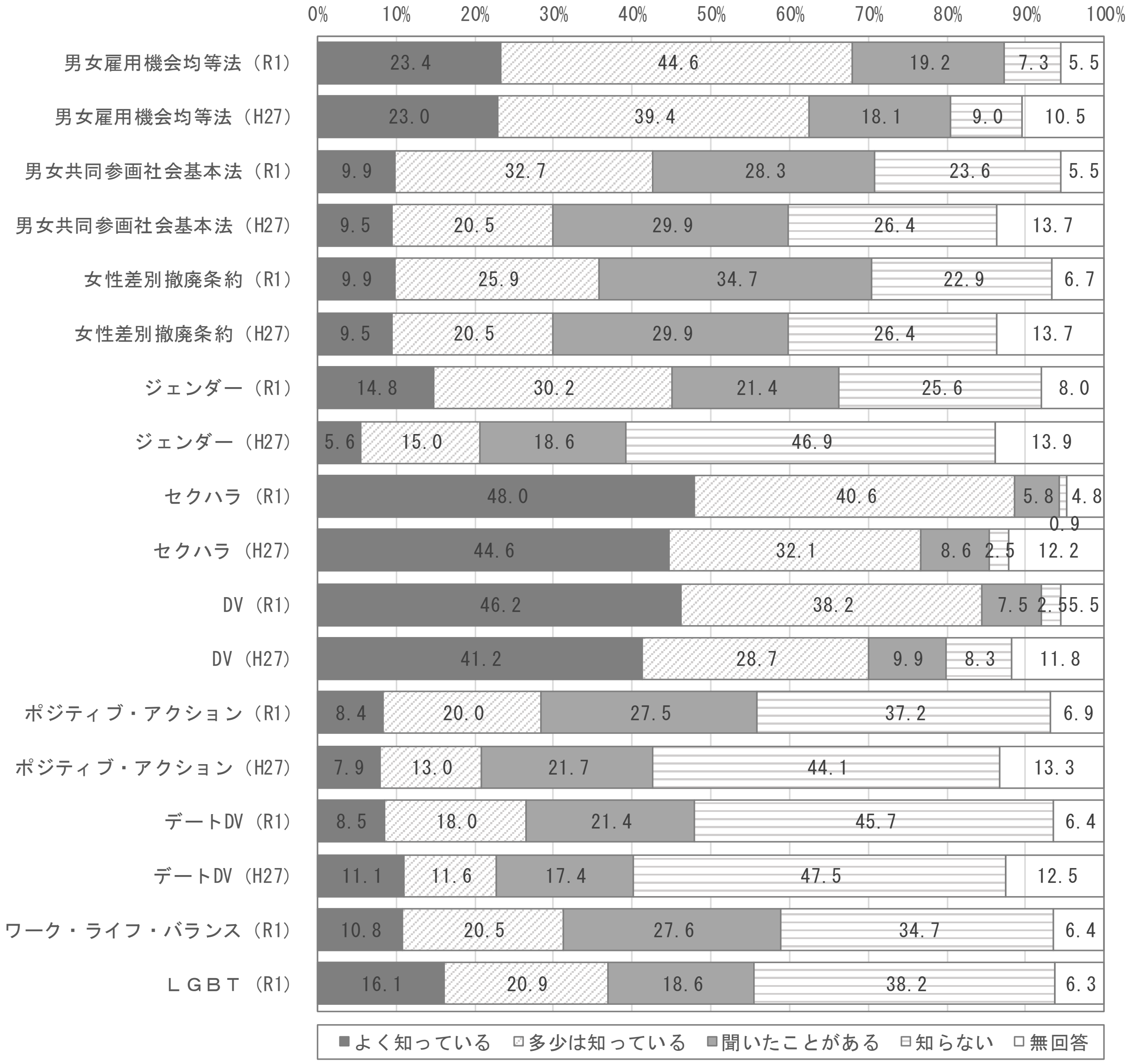
また、男女平等に関する言葉の認知度もそれぞれ上がっているが、「ポジティブ・アクション」「デートＤＶ」については認知度が低いので、今後も引き続き情報発信をしていく必要がある。

【問 30】男女の平等性（単数回答）

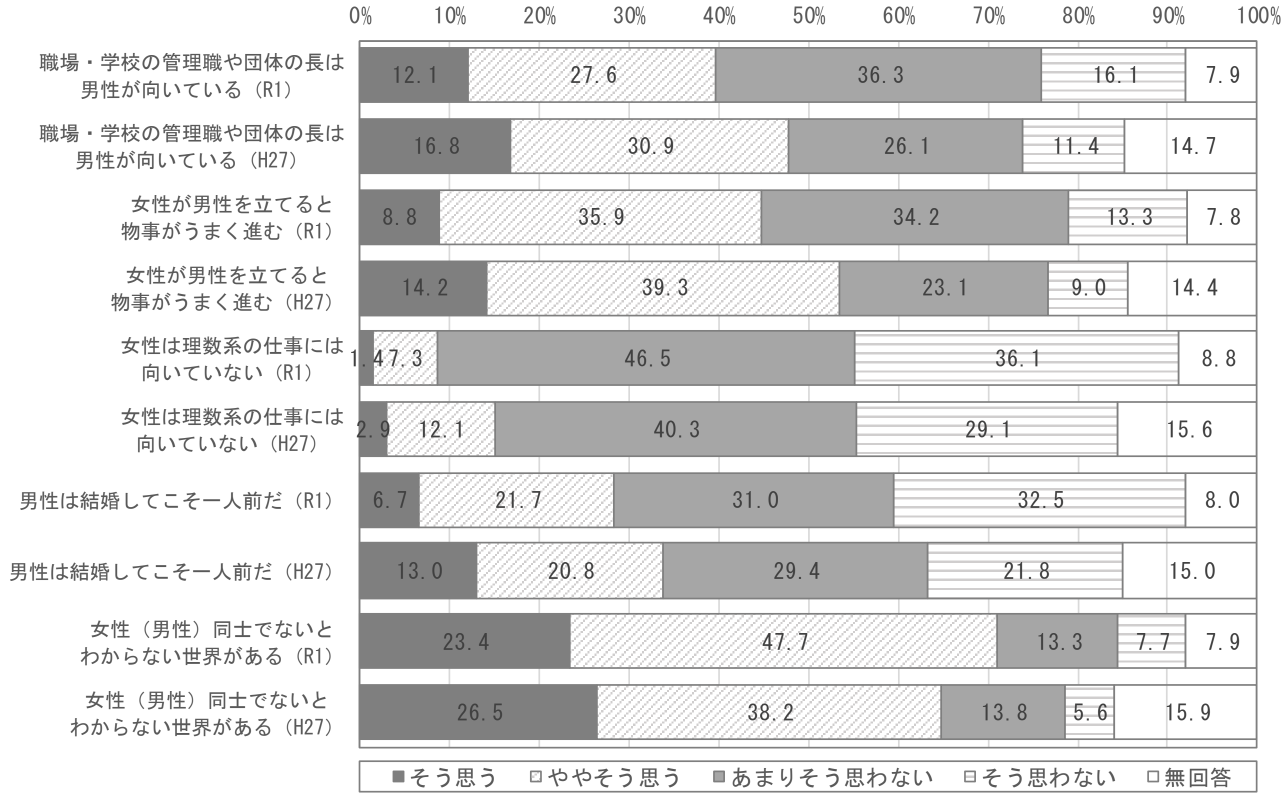


※H27 調査結果は「わからない」を抜いたもので再集計

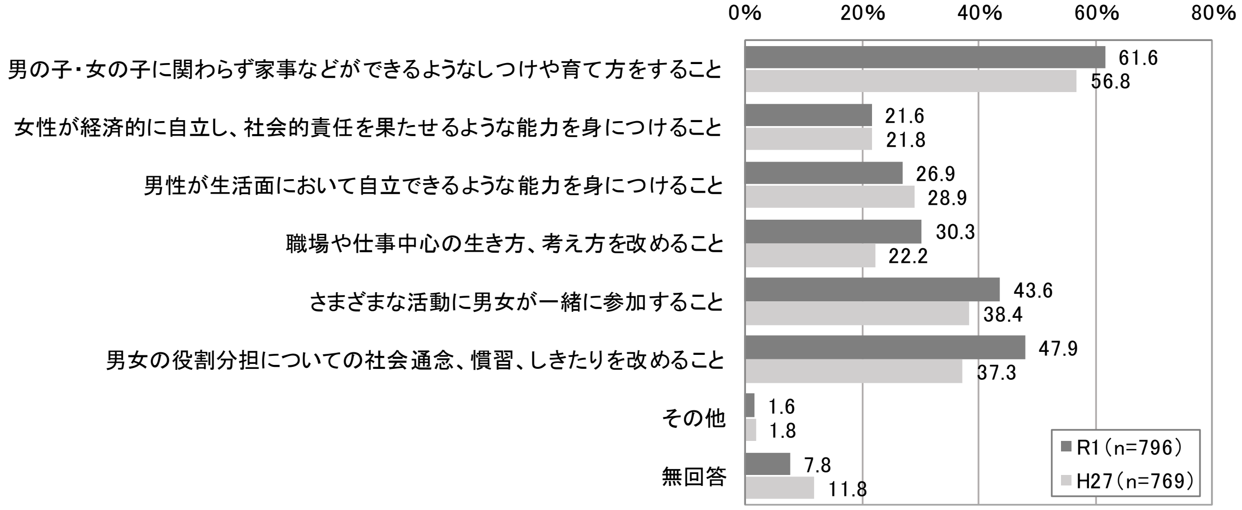
【問 31】男女平等に関する言葉の認知度（単数回答）



【問 32】男女平等に対する考え方（単数回答）

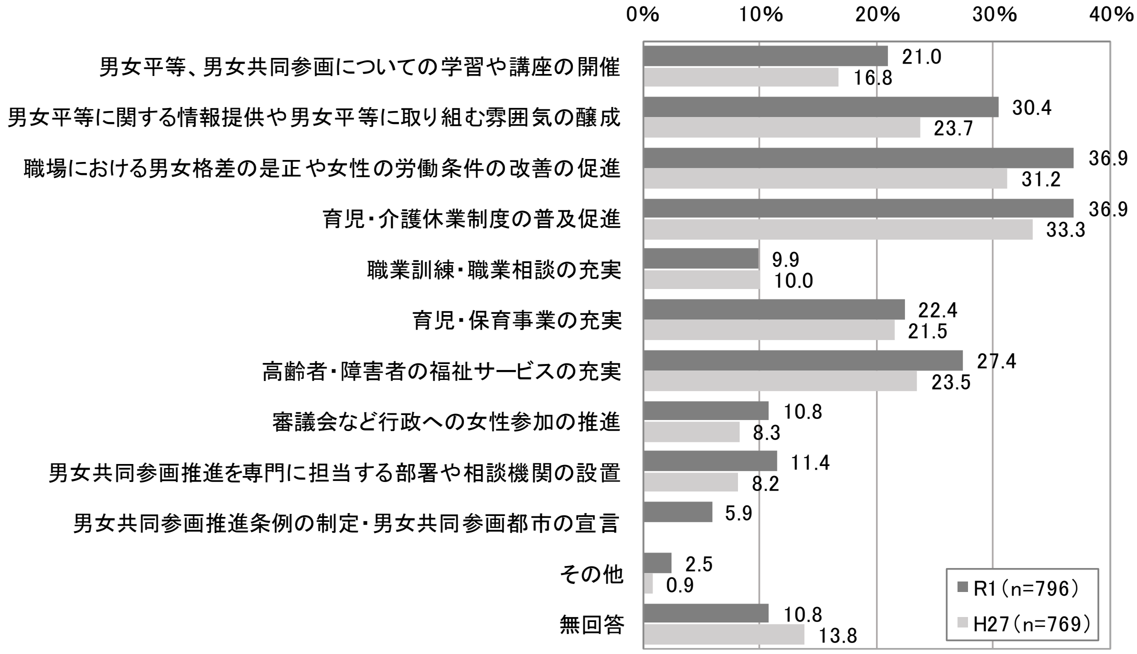


【問 33】男女平等のために必要なこと（複数回答）



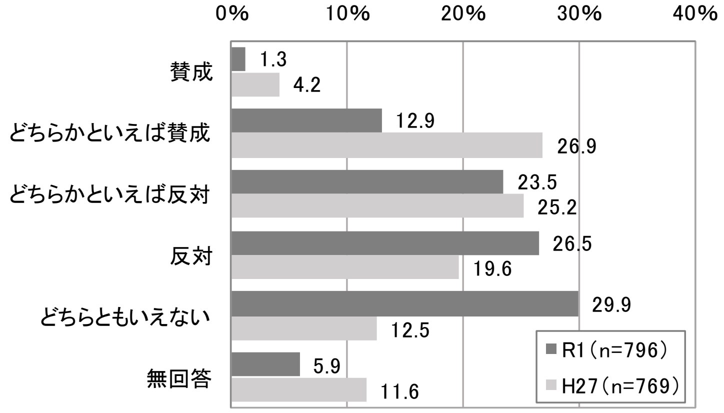
		合計	男の子・女の子に関わらず家事などができるようなしつけや育て方をすること	女性が経済的に自立し、社会的責任を果たせるような能力を身につけること	男性が生活面において自立できるような能力を身につけること	職場や仕事中心の生き方、考え方を改めること	さまざまな活動に男女が一緒に参加すること	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること	その他	無回答
全体		796 100.0	490 61.6	172 21.6	214 26.9	241 30.3	347 43.6	381 47.9	13 1.6	62 7.8
性別	男	351 100.0	202 57.5	67 19.1	95 27.1	124 35.3	154 43.9	173 49.3	6 1.7	21 6.0
	女	401 100.0	263 65.6	99 24.7	110 27.4	112 27.9	171 42.6	189 47.1	7 1.7	33 8.2
年齢	10・20歳代	73 100.0	43 58.9	15 20.5	15 20.5	29 39.7	31 42.5	35 47.9	3 4.1	2 2.7
	30・40歳代	158 100.0	107 67.7	33 20.9	53 33.5	59 37.3	58 36.7	81 51.3	3 1.9	3 1.9
	50歳以上	560 100.0	337 60.2	122 21.8	145 25.9	152 27.1	256 45.7	264 47.1	7 1.3	56 10.0

【問 34】 男女共同参画社会の実現に向けて、多古町に期待すること（複数回答）



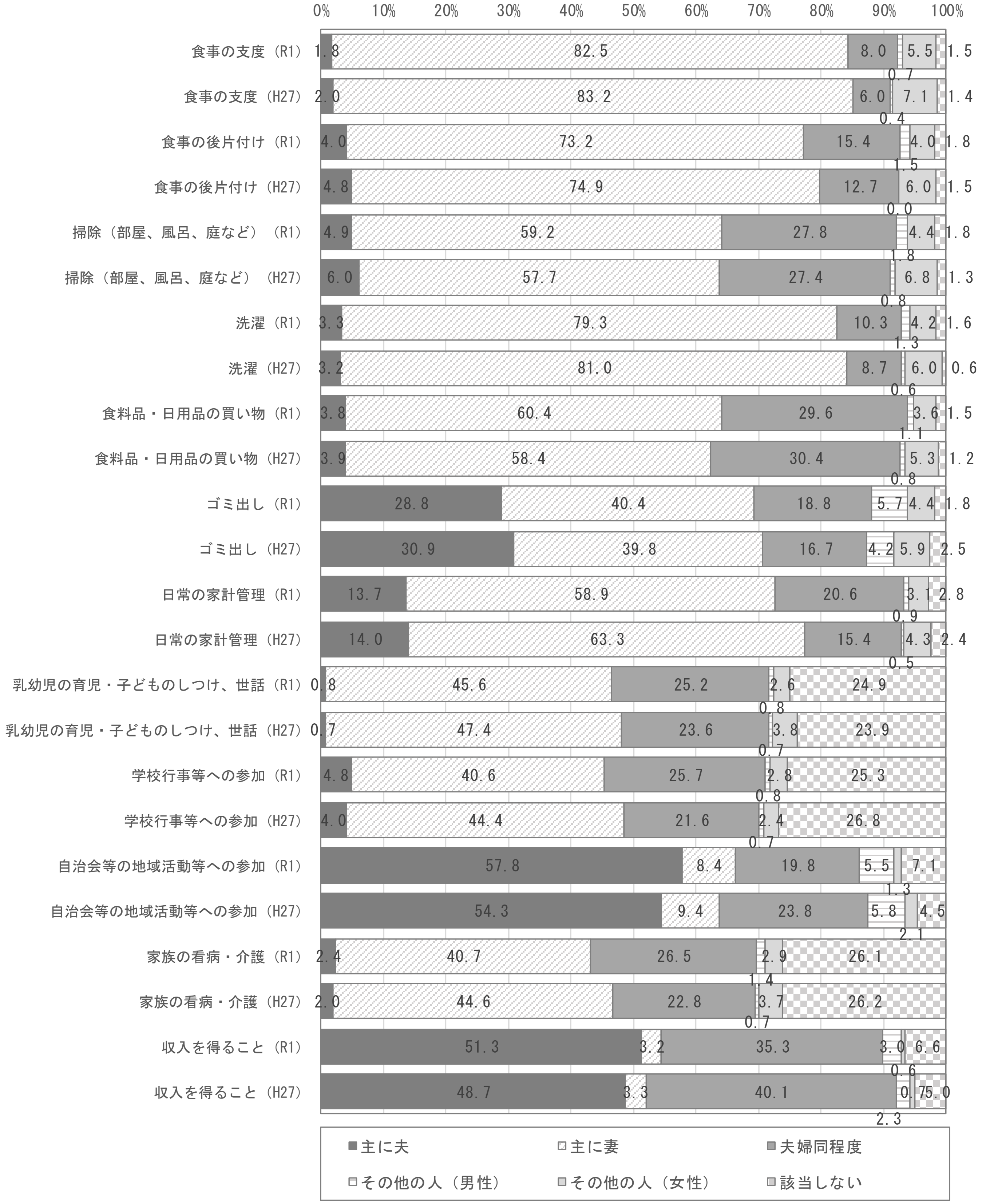
		合計	男女平等、男女共同参画についての学習や講座の開催	男女平等に関する情報提供や男女平等に取り組む雰囲気の醸成	職場における男女格差の是正や女性の労働条件の改善の促進	育児・介護休業制度の普及促進	職業訓練・職業相談の充実	育児・保育事業の充実	高齢者・障害者の福祉サービスの充実	審議会など行政への女性参加の推進	男女共同参画推進を専門に担当する部署や相談機関の設置	男女共同参画推進条例の制定・男女共同参画都市の宣言	その他	無回答
全体		796	167	242	294	294	79	178	218	86	91	47	20	86
		100.0	21.0	30.4	36.9	36.9	9.9	22.4	27.4	10.8	11.4	5.9	2.5	10.8
性別	男	351	75	118	137	122	31	88	92	43	45	29	13	31
		100.0	21.4	33.6	39.0	34.8	8.8	25.1	26.2	12.3	12.8	8.3	3.7	8.8
	女	401	90	111	140	161	46	83	116	38	41	15	7	43
		100.0	22.4	27.7	34.9	40.1	11.5	20.7	28.9	9.5	10.2	3.7	1.7	10.7
年齢	10・20歳代	73	9	28	27	29	11	25	14	8	6	3	4	1
		100.0	12.3	38.4	37.0	39.7	15.1	34.2	19.2	11.0	8.2	4.1	5.5	1.4
	30・40歳代	158	31	54	60	74	21	50	28	21	11	11	6	4
		100.0	19.6	34.2	38.0	46.8	13.3	31.6	17.7	13.3	7.0	7.0	3.8	2.5
	50歳以上	560	127	159	206	190	47	103	175	57	74	33	10	78
		100.0	22.7	28.4	36.8	33.9	8.4	18.4	31.3	10.2	13.2	5.9	1.8	13.9

【問 35】男女の役割に対する「男は仕事、女は家庭」という考え方について（単数回答）



		合計	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	どちらともいえない	無回答
全体		796	10	103	187	211	238	47
		100.0	1.3	12.9	23.5	26.5	29.9	5.9
性別	男	351	5	55	74	98	104	15
		100.0	1.4	15.7	21.1	27.9	29.6	4.3
	女	401	5	45	103	102	123	23
		100.0	1.2	11.2	25.7	25.4	30.7	5.7
年齢	10・20歳代	73	2	6	20	26	18	1
		100.0	2.7	8.2	27.4	35.6	24.7	1.4
	30・40歳代	158	3	18	38	52	47	0
		100.0	1.9	11.4	24.1	32.9	29.7	0.0
	50歳以上	560	5	79	129	131	171	45
		100.0	0.9	14.1	23.0	23.4	30.5	8.0

【問 36】家庭内での男女の役割分担状況（単数回答）【既婚者で配偶者と同居している方限定】



※無回答を除いたもので再集計

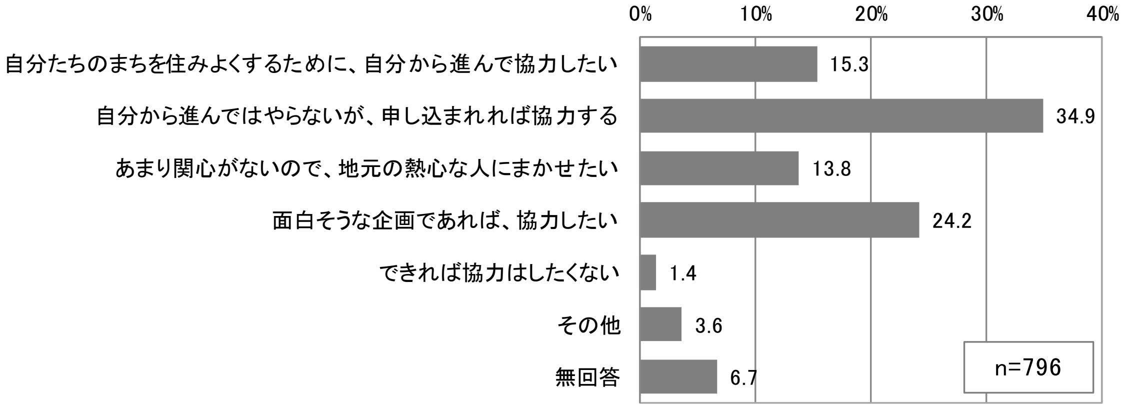
９．まちづくり全般について

今後のまちづくりについて、参加意思・希望について伺うと、全体としては「自分から進んではやらないが、申し込まれれば協力する」が最も多くなっているが、10～40 歳代では「面白そうな企画であれば、協力したい」が多くなっているので、企画内容等の検討もまちづくりへの参画の推進のためには重要であることがみてとれる。

また、「町民・事業者・町（行政）が協力・連携して進める」べきと考える方も多くなっているため、今後もしっかりとした連携を図っていくことが必要である。

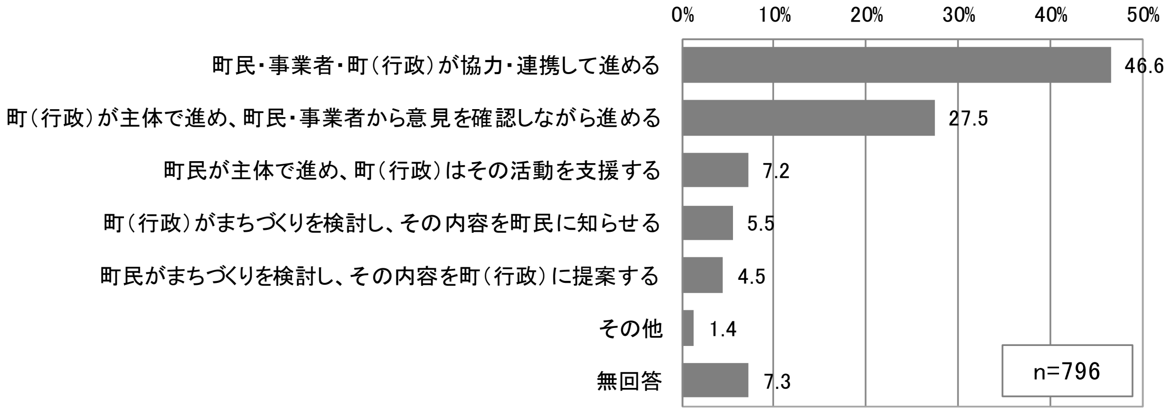
自由記述でまちづくりのためのアイデアを伺うと、最も多かった意見は「交通利便性の向上」となっているが、「子どもへの支援」「ＰＲ・情報発信」「自然を活かしたまちづくり」等、様々なアイデアの記述をいただいた。

【問 37】町政・まちづくりへの参加意思・希望（単数回答）



		合計	自分たちのまちを住みよくするために、自分から進んで協力したい	自分から進んではやらないが、申し込まれれば協力する	あまり関心がないので、地元の熱心な人にまかせたい	面白そうな企画であれば、協力したい	できれば協力はしたくない	その他	無回答
全体		796	122	278	110	193	11	29	53
		100.0	15.3	34.9	13.8	24.2	1.4	3.6	6.7
性別	男	351	79	118	46	81	4	11	12
		100.0	22.5	33.6	13.1	23.1	1.1	3.1	3.4
	女	401	39	143	58	104	7	18	32
		100.0	9.7	35.7	14.5	25.9	1.7	4.5	8.0
年齢	10・20歳代	73	14	14	18	24	0	2	1
		100.0	19.2	19.2	24.7	32.9	0.0	2.7	1.4
	30・40歳代	158	20	51	15	57	5	7	3
		100.0	12.7	32.3	9.5	36.1	3.2	4.4	1.9
	50歳以上	560	88	209	77	111	6	20	49
		100.0	15.7	37.3	13.8	19.8	1.1	3.6	8.8

【問38】今後のまちづくりの主体（単数回答）



		合計	町民・事業者・町が協力・連携して進める	町が主体で進め、町民・事業者から意見を確認しながら進める	町民が主体で進め、町はその活動を支援する	町がまちづくりを検討し、その内容を町民に知らせる	町民がまちづくりを検討し、その内容を町に提案する	その他	無回答
全体		796	371	219	57	44	36	11	58
		100.0	46.6	27.5	7.2	5.5	4.5	1.4	7.3
性別	男	351	163	104	29	16	19	6	14
		100.0	46.4	29.6	8.3	4.6	5.4	1.7	4.0
	女	401	191	104	25	24	16	5	36
		100.0	47.6	25.9	6.2	6.0	4.0	1.2	9.0
年齢	10・20歳代	73	29	24	10	2	6	2	0
		100.0	39.7	32.9	13.7	2.7	8.2	2.7	0.0
	30・40歳代	158	77	44	14	5	7	4	7
		100.0	48.7	27.8	8.9	3.2	4.4	2.5	4.4
	50歳以上	560	263	149	33	37	23	5	50
		100.0	47.0	26.6	5.9	6.6	4.1	0.9	8.9

【問 39】多古町への要望やご意見、地域活性化のアイデアなど（自由記述）

281 人の方から 416 件のご意見をいただいた。主な意見内容と件数は以下の通り。

主な意見	件数
交通利便性の向上	**65 件**
交通の便の改善を希望する	
鉄道が無いと不便	
町中心部に施設が集まりすぎているので、各地区を公共交通機関で結ばないと不便	
コミュニティバスの利便性の向上を求める	
子どもへの支援の強化	**30 件**
習い事が増えると良い	
多古高のイメージアップを図ってほしい	
子連れで行ける飲食店を増やしてほしい	
少子の時代だからこそ、未来への投資は惜しむべきではない	
商業施設の充実	**25 件**
買い物できるお店が欲しい	
飲食店・娯楽施設があると、人が増えるのではないかと思う	
景観の整備	**25 件**
栗山川の堤防を道の駅周辺のように、上流まで芝と桜を植えて整備したら良い	
多古町の田園風景が大好き	
町中心地だけでも見栄え良い町づくりをすればいい	
どこに行っても同じ店が立ち並び、便利さだけを追求した、薄っぺらい景観のまちにはなってほしくない	
内外へのＰＲ・情報発信	**23 件**
東京駅からバスが出ている事もっとアピールして	
インスタ映えするような取り組みや、メディアが好きそうな事にお金をかける	
大和芋・多古米の産地を活かし、料理研究家を迎えて情報提供する	
自然を活かしたまちづくり	**22 件**
せっかくのすばらしい植生、光湿原の PR をして	
一年を通じて草木等の花が咲き、年間通じて来場者を増やし「美しい多古町」を造る	
多古町の「都市化」は反対です（住みやすい町＝自然を破壊し、山を壊しての都市化や町づくりではない）	
都内にすぐ行けるからといって、決して都会のような街ではなく、自然豊かな街ならとても住みやすい	
BBQ・キャンプ場があるといい	

町政へのご意見 行政が町民に対し、もっと寄り添う事が必要 町行政が先頭に立って働く姿を町民に見せる事	**21 件**
災害対策・安全安心のまちづくり 災害時に多古町役場だけでも電話が通じるといい 災害時の受け入れてもらえる施設を増設して、災害に強いまちづくりを 街灯を増やしたり、歩道を整備したり、安全な町であって欲しい	**20 件**
成田空港の活用 もっと、空港に近いという地域の特性を生かすべき	**18 件**
イベント等の開催 豊かな自然を活かした、ホタル放流・ホタル観賞会などのイベント コミプラや道の駅のわきにあるステージを使って、音楽イベントをたくさん行うのはどうか レインボーステージ前で行われていたフリーマーケットを復活させてほしい	**18 件**
農業の振興 やはり多古町のお米は、有名なので、多古米のブランドを守る環境整備が必要 多古は農業の町、ゆえに農業女性の団結が必要	**17 件**
高齢者福祉の充実 年寄りが安心して暮らせる町でなければ、若者がどんどん居なくなると思う 親は他の市町村の特別養護老人ホームに入所しており、多古町ではいつ入所できるかわからないという状況	**17 件**
居住地の整備 分譲住宅・団地等を増やし、町からの補助金制度を設けると、若い人達が住みやすくなる 住みやすい町ですが、世帯向けの貸住居が少ない（知人が転入を検討していましたが、住居がなくあきらめました）	**13 件**
雇用・就労の充実 企業誘致を推進する 働く場所があれば、若い人も増えると思う	**10 件**
公共施設の充実 大きな図書館が欲しい 高齢者の体づくりの為にもトレーニングジム等のスポーツ施設があるといい 生涯学習（文化講座やスポーツ）に興味はあるけれど、参加しづらいので、活動の様子などがもう少し分かると良い	**9 件**

外国人に対する取り組み	**8 件**
これからは、外国の方への支援教育が必要となってくると思う	
海外から来る人が日本らしさを体験できる様なまちづくり	
医療の充実	**8 件**
急病の際、成田まで行くしかないのが不便	
耳鼻科が欲しいです	
財政の確保	**7 件**
多古町を財政力のある町に変えていくべき	
ふるさと納税をもっと充実させて	
地域行事等の見直し	**7 件**
消防団などは廃止すべき	
昔ながらの行事をやめれば、若者が地元に戻ってくると思う	
空き家・土地の活用	**6 件**
空き家を古民家に再利用したり、都会の人のセカンドハウスなどに利用するのはどうか	
空き家を休憩所やバス停やカフェ等に変えると、若者は喜ぶかもしれない	
結婚支援	**4 件**
独身者対策	
婚活に力を入れていくといい	
その他のまちづくりアイデア	**23 件**
町全体のコンセプトを統一した方がいいのでは	
何か１つ自慢の『多古町』の特色をつくる、長所を伸ばすこと	
子どもたちが地元愛をもって成長していくためのふるさと教育が大切	
その他のご意見	**20 件**
良い町だと思います	
災害時の職員の方の頑張り、町民はきちんと見ています、感謝している	
多古町はきちんと計画された行政のもとで安心して住める町、誇りに思う	